

6. 写真管理基準（案）

（令和2年10月改正）

写真管理基準（案）

（適用範囲）

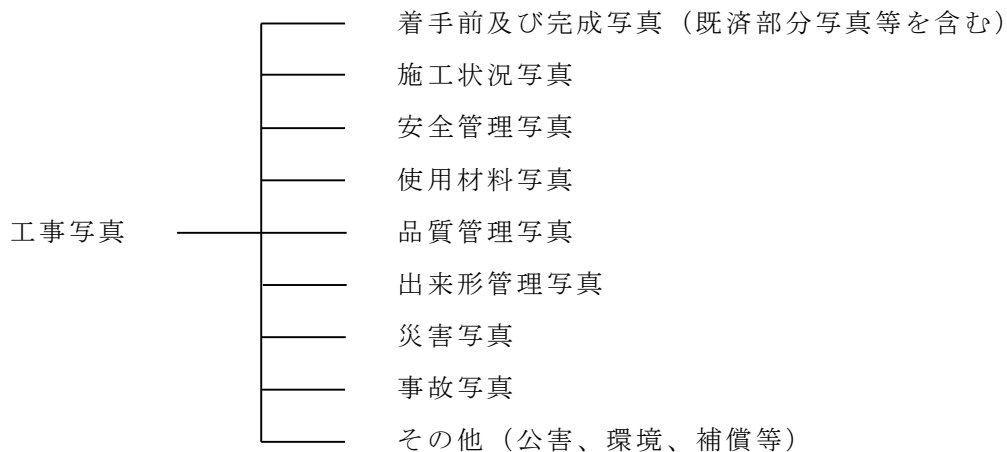
1. この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

なお、フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、別紙、「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」による。

また、写真を映像と読み替えることも可とする。

（工事写真の分類）

2. 工事写真は次のように分類する。



（工事写真の撮影基準）

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

（1）撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

（2）撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるように被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

(3) 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、
「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、
「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、
「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）」（国土交通省）、
「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、
「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、
「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、
「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、
「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、
「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、
「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、
「施工履歴データを用いた出来形管理要領（路面切削工編）（案）」（国土交通省）、
「施工履歴データを用いた出来形管理要領（表層安定処理等・中層地盤改良工事編）（案）」（国土交通省）、
「施工履歴データを用いた出来形管理要領（固結工（スラリー攪拌工）編）（案）」（国土交通省）による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」（国土交通省）による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

(写真の省略)

4. 工事写真は以下の場合に省略する。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略する。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略する。
- (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略する。臨場時の状況写真は不要。

(写真の加工等)

4. 写真加工は認めない。

ただし、デジタル工事写真の黒板情報電子化に基づく黒板情報の電子的記入は、これに当たらない。

(撮影の仕様)

5. 写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

(1) 写真はカラーとする。

(2) 写真の有効画素数は、黒板の文字が判読できることを指標とする。

(100万画素～300万画素程度=1, 200×900程度～2, 000×1,500程度)ただし、監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

(3) 夜間など通常のカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等確認可能な方法で撮影する。

(4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

(工事写真帳の大きさ)

6. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4判とする。

(工事写真の提出部数及び形式)

7. 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

(1) 工事写真として、工事写真帳と原本を工事完成時に各1部提出する。

(2) 写真原本は、電子媒に格納し、監督員に提出するものとする。

(留意事項等)

8. 別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

(1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。

(2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法(上墨寸法含む)が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。

(3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図等(撮影位置図、平面図、凡例図、構造図、など)を工事写真帳に添付する。

(4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ

取り扱いを定めるものとする。

(その他)

9. 用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所での仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。

撮影箇所一覧表（全体）

区 分		写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前 1 回 〔着手前〕	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後 1 回 〔完成後〕	
施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月 1 回 〔月末〕	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1 施工箇所に 1 回 〔施工前後〕	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕	
			「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）による場合は、撮影毎に 1 回 〔発生時〕	写真測量に使用したすべての画像
		「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「RTK-GNSS を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）による場合は、計測毎に 1 回 〔発生時〕	代表箇所各 1 枚	

撮影箇所一覧表（全体）

区 分		写真管理項目		摘 要
		撮影項目	区 分	
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	
		監視員交通整理状況	各1回 〔作業中〕	
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回 〔実施中〕	
使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回 〔使用前〕	
		品質照明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回	
		検査実施状況	各品目毎に1回 〔検査時〕	
品質管理		別添 撮影箇所一覧表（品質管理）に準じて撮影		
		不可視部分の施工	適宜	
出来形管理		別添 撮影箇所一覧表（出来形管理）に準じて撮影		
		不可視部分の施工	適宜	
		出来形管理基準が定められていない	監督員と協議事項	
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	
その他	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回 〔設置後〕	

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要	
		撮影項目	撮影頻度 [時期]		
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・ 覆工コンクリート・吹 付けコンクリートを 除く)(施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	圧縮強度試験 に使用したコン クリートの供試体 が、当該現場 の供試体であ ることが確認 できるもの	
		スランブ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 〔試験実施中〕		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕		コンクリート舗装の 場合適用
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・ 覆工コンクリート・吹 付けコンクリートを 除く)(施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 〔試験実施中〕		
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 〔試験実施中〕		
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 〔検査実施中〕		
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 〔検査実施中〕		
		浸透探傷試験	検査毎に1回 〔検査実施中〕		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
セメントの圧縮強度試験					
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕		
		ブルフローリング	路盤毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕		
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		土の液性限界・塑性限界 試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の試験	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕		
		粒度			
		平板載荷試験	観察により異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		土の液性限界・塑性限界 試験			
含水比試験					
6	アスファルト安定処 理路盤	アスファルト舗装に準拠			
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回 〔試験実施中〕		
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 〔試験実施中〕		
		セメント量試験	観察により異常が認められた場合 〔試験実施中〕		

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		概要	
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕		
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
		水浸ホイルラッキング試験			
		ホイルラッキング試験			
	ラベリング試験				
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕		
		温度測定			
外観検査					
すべり抵抗試験					
9	転圧コンクリート	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 〔温度測定中〕		
		マーシャル突き固め試験			
		ランマー突き固め試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
		温度測定 (コンクリート)			
		現場密度の測定			コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕
		コアによる密度試験			
10	ゲースアスファルト舗装 (プラント)	貫入試験 40℃	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕		
		リュエル流動性試験 240℃			
		ホイルラッキング試験			
		曲げ試験			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
	温度測定				
	ゲースアスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕		
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床每または施工箇所毎に1回 〔試験実施中〕		
		プルフローリング	路床毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験			
		現場 CBR 試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		含水比試験			
たわみ量	プルフローリングの不良箇所について実施 〔試験実施中〕				
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕		
		現場密度の測定	材質毎に1回 〔試験実施中〕		
		プルフローリング	工種毎に1回 〔試験実施中〕		
		平板載荷試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕		
		現場 CBR 試験			
		たわみ量			プルフローリングの不良箇所について実施 〔試験実施中〕

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	
14	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜 〔試験実施中〕	
		モルタルの圧縮強度試験		
		多サイクル確認試験		
		1サイクル確認試験		
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕	
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 〔試験実施中〕	モルタルを除く
		コンクリートの圧縮強度試験		
		スランブ試験	品質に変化がみられた場合 〔試験実施中〕	
		空気量測定	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	
		コアによる強度試験		
17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕	モルタルを除く
		塩化物総量規制		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	
		スランブ試験	品質に変化がみられた場合 〔試験実施中〕	
		空気量測定	試験毎に1回 〔試験実施中〕	
		ロックボルトの引き抜き試験		
18	河川土工(施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 〔試験実施中〕	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 〔試験実施中〕	
19	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 〔試験実施中〕	

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
20	道路土工 (施工)	現場密度の測定	材質毎に1回 〔試験実施中〕	
		プルフローリング	工種毎に1回 〔試験実施中〕	
		平板載荷試験	材質毎に1回 〔試験実施中〕	
		現場 CBR 試験		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 〔試験実施中〕	
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 〔試験実施中〕	
		たわみ量	プルフローリングの不良箇所について実施 〔試験実施中〕	
21	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岸質毎に1回 〔試験実施中〕	
		岩石の吸水率		
		岩石の圧縮強さ		
		岩石の形状		
22	覆工コンクリート (NATM)	スランブ試験	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕	
		コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 〔試験実施中〕	
		塩化物総量規制		
		空気量測定	品質に変化が認められた場合 〔試験実施中〕	
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	
コンクリートの洗い分析試験				
23	吹付けコンクリート (NATM)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 〔試験実施中〕	圧縮強度試験 に使用したコン クリートの供試体 が、当該現場 の供試体であ ることが確認 できるもの
		コンクリートの圧縮強度試験		
		スランブ試験	品質に変化が見られた場合 〔試験実施中〕	
		空気量測定		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 〔試験実施中〕	
		吹付けコンクリートの初 期強度	トンネル施工長 40mごとに1回	
		24	ロックボルト (NATM)	モルタルの圧縮強度試験
モルタルのフロー値試験				
ロックボルトの引抜き試験	適宜			
25	路上路盤再生工 (材料)	修正 CBR 試験	材料毎に1回 〔試験実施中〕	
		土の粒度試験		
		土の含水比試験		
		土の液性限界・塑性限界 試験		
	路上路盤再生工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 〔試験実施中〕	
		土の一軸圧縮試験		
		CAEの一軸圧縮試験		
		含水比試験		

撮影箇所一覧表（品質管理）

番号	工種	写真管理項		概要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
26	路上表層再生工 (材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回	
		旧アスファルトの軟化点		
	路上表層再生工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 〔試験実施中〕	
		温度測定		
		かきほぐし深さ		
	粒度	アスファルト量抽出粒度分析試験		
	アスファルト量抽出粒度分析試験			
27	排水性舗装工・透水性舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	
		アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定		
		水浸ホールラッキング試験		
		ホールラッキング試験		
		ラベリング試験		
		カンタブ試験		
	排水性舗装工・透水性舗装工 (舗設現場)	温度測定	現場透水試験	
		現場透水試験		
		現場密度の測定		
外観検査				
28	プラント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 〔試験実施中〕	
		再生アスファルト量		
		水浸ホールラッキング試験		
		ホールラッキング試験		
		ラベリング試験		
	プラント再生舗装工 (舗設現場)	外観検査	温度測定	
		温度測定		
		現場密度の測定		
29	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 〔試験実施中〕	
		ノッチ深さ		
		スラグ		
		上縁の溶け		
		平面度		
		ベベル精度		
		真直度		
30	溶接工	引張試験	試験毎に1回 〔試験実施中〕	
		型曲げ試験		
		衝撃試験		
		マクロ試験		
		非破壊試験		
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査		
		外観検査		
		曲げ試験		
	ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて 〔試験実施中〕		
31	中層混合処理	テーブルフロー試験	適宜 〔試験実施中〕	
		土の一軸圧縮試	材質毎に1回 〔試験実施中〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 共通編	2 土工	3 河川土工・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						法長 ※右のいずれ かで撮影す る。	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔掘削後〕	
							「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「無人航空機搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）による場合は 1工事に1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
	「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。							

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 共通編	2 土工	3 河川土工・砂防土工	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」（国土交通省）における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
							「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）による場合は1工事に1回 〔施工後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影
							「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕					
1 共通編	2 土工	3 河川土工・砂防土工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕					
									5	法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔仕上げ時〕
		4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に 1 回 〔掘削中〕					
									法長 ※右のいずれか かで撮影する	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔掘削後〕	「TS 等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(国土交通省)、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(国土交通省)、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(国土交通省)による場合は 1 工事に 1 回 〔掘削後〕	・出来映えの 撮影 ・TS 等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	
							「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」（国土交通省）における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	
				「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）による場合は1工事に1回 〔施工後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影			
						「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。		
			5		法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔仕上げ時〕	
3 無筋・鉄筋 コンクリート	7 鉄筋工	4	1		組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 （重要構造物かつ主鉄筋について適用）	
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 （重要構造物かつ主鉄筋について適用）	
		4	2		組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験 （電磁誘導法、電磁波レダ法）	試験毎に1回 〔試験実施中〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3	2	3	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m 又は1 施工箇所にて1 回 〔打込前後〕	
						変位	40m 又は1 施工箇所にて1 回 〔打込後〕	
						数量	全数量 〔打込後〕	
			5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	出来ばえ	種別毎にて1 回 〔施工後〕	
			6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 値入れ長	基礎タイプ毎5 箇所にて1 回 〔施工後〕	
			7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断) 防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1 施工箇所にて1 回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	
						パイプ取付高	1 施工箇所にて1 回 〔施工後〕	
			8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1 施工箇所にて1 回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	
						ビーム取付高	1 施工箇所にて1 回 〔施工後〕	
			8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1 施工箇所にて1 回 (※印は現場打ち部分がある場合) 〔施工後〕	
						ケーブル取付高	1 施工箇所にて1 回 〔施工後〕	
			9		区画線工	材料使用量	全数量 〔施工前後〕	
						出来ばえ	施工日に1 回 〔施工前後〕	
			10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1 施工箇所にて1 回 〔施工後〕	
			11		コンクリート面塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	
素地調整状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕							
塗装状況	各層毎にて1 回 〔塗装後〕							
12	1	プレテンション桁製作工 (購入工) (桁橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1 スパンにて1 回 〔製作後〕				
12	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	1 スパンにて1 回 〔製作後〕				
13	1	ポストテンション桁製作工	シース、PC 鋼 材配置状況	桁毎にて1 回 〔打設前〕				
			幅(上)	桁毎にて1 回				
			幅(下)	〔型枠取外後〕				
			高さ	1 スパンにて1 回 〔施工時〕				
13	2	プレキャストセグメント製作工 (購入工)	断面の外形寸法	1 スパンにて1 回 〔製作後〕				

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕				
3	2	3			共通の工種	14	プレキャストセグメント主桁組立工	組立状況	1 スパンに1回 〔組立時〕		
								15	PC ホロースラブ製作工		シーす、PC 鋼材配置状況
						幅 厚さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕				
						中詰め及びグラウト状況	1 スパンに1回 〔施工時〕				
						16	1	PC 箱桁製作工	シーす、PC 鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	
									幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
									内空幅 内空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕	
									中詰め及びグラウト状況	1 スパンに1回 〔施工時〕	
						16	2	PC 押し箱桁製作工	シーす、PC 鋼材配置状況	桁毎に1回 〔打設前〕	
									幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕	
									内空幅 内空高さ	桁毎に1回 〔型枠設置後〕	
									中詰め及びグラウト状況	1 スパンに1回 〔施工時〕	
						17		根固めブロック工	数量	全数量 〔製作後〕	
									ブロックの形状 寸法	形状寸法変わる毎に1回 〔製作後〕	
						18		沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	
						19		捨石工	幅	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	
						22		階段工	幅 高さ 長さ	1 施工箇所 に1回 〔施工後〕	
						24	1	伸縮装置工 （ゴムジョイント）	設置状況	1 スパンに1回 〔設置後〕	
						24	2	伸縮装置工 （鋼製フィンガージョイント）	設置状況	1 スパンに1回 〔設置後〕	
						26	1	多自然型護岸工 （巨石張り、巨石積み）	胴込裏込厚	120m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工中〕	
法長	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕										
26	2	多自然型護岸工 （かごマット）	高さ 法長	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕							
27	1	羽口工 （じゃかご）	法長 厚さ	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕							
27	2	羽口工 （ふとんかご、かご枠）	高さ	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕							
28		プレキャストカルバート工 （プレキャストボックス工） （プレキャストパイプ工）	据付状況	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工中〕							
			※幅 ※高さ	200m 又は1 施工箇所 に1回 （※印は場所打ちのある場合） 〔埋戻し前〕							

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要			
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕				
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L形側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕				
			29	2	側溝工 (場所打水路工)	厚さ 幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕				
			29	3	側溝工 (暗渠工)	幅 深さ	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔埋戻し前〕				
			30		集水柵工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕				
			31		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕				
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 〔施工前後〕				
						塗装状況	各層毎 1 スパンに 1 回 〔塗装後〕				
			4 基礎工			1	一般事項 (切込砂利) (碎石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 厚さ	40m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕		
						3	1	基礎工 (護岸) (現場打)	幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔型枠取外し後〕	
						3	2	基礎工 (護岸) (プレキャスト)	据付状況	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	
	4					既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H 鋼杭)	偏心量	1 施工箇所 に 1 回 〔打込後〕			
							根入長	1 施工箇所 に 1 回 〔打込前〕			
							数量	全数量 〔打込後〕			
							杭頭処理状況	1 施工箇所 に 1 回 〔処理前、中、後〕			
	5					場所打杭工	根入長	1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕			
							偏心量	1 施工箇所 に 1 回 〔打込後〕			
							数量、杭径	全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭処理後			
			杭頭処理状況	1 施工箇所 に 1 回 〔処理前、中、後〕							
			鉄筋組立状況	1 施工箇所 に 1 回 〔組立後〕							
	6		深礎工	根入長	全数量 〔掘削後〕						
偏心量 数量、基礎径				全数量 〔施工後〕							
ライナープレート 設置状況				1 施工箇所 に 1 回 〔掘削後〕							
土質				土質の変わる毎に 1 回 〔掘削中〕							
鉄筋組立状況				全数量 〔組立後〕							

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕					
3	2	4	7		オープンケーソン基礎工	沓	1基に1回〔据付後〕					
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し後〕					
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕					
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕					
						8			ニューマチックケーソン基礎工	沓	1基に1回〔据付後〕	
										ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 〔設置後及び型枠取外し後〕	
										載荷状況	1基に1回〔載荷時〕	
										封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕	
										9		
		根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基に1回〔設置後〕									
		載荷状況	1基に1回〔載荷時〕									
		5	石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工 （コンクリートブロック積） （コンクリートブロック張り）	厚さ（裏込）	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕				
							法長 長さ （ブロック積張）	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕				
				3	2	コンクリートブロック工 （連節ブロック張り）	法長	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕 ただし、根入部は 40m に 1 回				
				3	3	コンクリートブロック工 （天端保護ブロック）	幅	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕				
4				緑化ブロック工	厚さ（裏込）	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕						
					法長 厚さ（ブロック）	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕 ただし、根入部は 40m に 1 回						
5				石積（張）工	厚さ（裏込）	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕						
					法長 厚さ（ブロック）	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕 ただし、根入部は 40m に 1 回						

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕	
						厚さ	各層 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕	
						厚さ	各層 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）」（国土交通省）、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に1回 〔整正後〕	
						厚さ	1,000m ² に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回	
						転圧状況	〔施工中〕	
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕	
					ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕			
			7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	修正状況	400m に 1 回 〔修正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕	
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔修正後〕	
					ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔修正後〕			
			7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	修正状況	400m に 1 回 〔修正後〕	
タックコート プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕							
平坦性	1 工事に 1 回〔実施中〕							

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎 200m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	
				幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕			
				敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕			
				整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕			
8	4				半たわみ性舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	
						敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
			8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						浸透性ミルク注 入状況	400mに1回 〔注入時〕	
						平坦性	1工事1回 〔実施中〕	
			9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	
			幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕				
			敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕				
			整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕				
			9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎 400m に 1 回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	5	排水性舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
			9	6	排水性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	
			10	1	透水性舗装工 (路盤工)	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
	整正状況	各層毎 400m に1回 〔整正後〕						
	厚さ	各層毎 200m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
	幅	各層毎 80m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
	10	2	透水性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕			
タックコート プライムコート				各層毎に1回 〔散布時〕				
平坦性				1工事に1回 〔実施中〕				

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
3	2	6	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回		
						転厚状況	〔施工中〕		
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕		
						幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕		
						ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕			
				11	2	グースアスファルト舗装工 (基層工)	整正状況		400m に 1 回 〔整正後〕
							タックコート プライムコート		各層毎に 1 回 〔散布時〕
				11	3	グースアスファルト舗装工 (表層工)	整正状況		400m に 1 回 〔整正後〕
							タックコート プライムコート		各層毎に 1 回 〔散布時〕
							平坦性		1 工事に 1 回 〔実施中〕
				12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ		各層毎 400m に 1 回
							転厚状況		〔施工中〕
整正状況	各層毎 400m に 1 回〔整正後〕								
厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕								
		ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕							
		幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕						
		ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザーสキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎 1 工事に 1 回 〔整正後〕							

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎 200m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3	2	6	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青) 安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に1回	
						転厚状況	〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に1回	
			厚さ	各層毎 1,000m ² に1回				
				〔整正後〕				
				※コアを採取した場合は写真不要				
	ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎1工事に1回							
	〔整正後〕							
	幅	各層毎 80m に1回						
		〔整正後〕						
		ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎1工事に1回						
		〔整正後〕						
			12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	整正状況	400m に1回	
					タックコート プライムコート	各層毎に1回		
					幅	各層毎 80m に1回		
						〔整正後〕		
						ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎1工事に1回		
						〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3	2	6	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						ストリップバー タイバー寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕	
						鉄網寸法 位置	80mに1回 〔据付後〕	
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕	
						目地段差	1工事に1回	
			12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕	
						ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		
						ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3	2	6	12	7	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
						校正状況	各層毎 400m に1回〔修正後〕	
						厚さ	各層毎 200m に1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						幅	各層毎 80m に1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
			12	8	コンクリート舗装工 （転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
						校正状況	各層毎 400m に1回〔修正後〕	
						厚さ	各層毎 1,000m ² に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
						幅	各層毎 80m に1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転厚状況	400mに1回 〔施工中〕	
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
3	2	6	12	11	コンクリート舗装工（連続鉄筋コンクリート舗装工）	石粉 ブラムコート	各層毎に1回 〔散布時〕		
						鉄筋寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕		
						横断張目地部 ダウエルバー 寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕		
						縦そり突合せ 目地部・縦そり ダミー目地部タ イバー寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕		
						平坦性	1工事に1回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の 場合は打設前後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）、「TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕		
						目地段差	1工事に1回		
				13	1	薄層カラー舗装工 （下層路盤工）	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
							整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
							厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕	
							幅	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	
				13	2	薄層カラー舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	
							整正状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕	
							厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕	
							幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に1回 〔整正後〕	
						厚さ	各層毎 1,000m ² に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
						整正状況	各層毎 400m に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	400m に1回 〔整正後〕	
						タックコート プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	
						厚さ	1,000m ² に1回 〔整正後〕	
						幅	各層毎 80m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転厚状況	各層毎 400m に1回 〔施工中〕	
整正状況	各層毎 400m に1回 〔整正後〕							
厚さ	各層毎 200m に1回 〔整正後〕							
幅	各層毎 80m に1回 〔整正後〕 ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」(国土交通省)による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕							

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕			
3	2	6	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回			
						転厚状況	〔施工中〕			
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕			
								幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕	
									ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回			
						転厚状況	〔施工中〕			
						整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎 200m に 1 回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要			
								幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕	
									ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	
			14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回			
						転厚状況	〔施工中〕			
整正状況	各層毎 400m に 1 回 〔整正後〕									
			幅	各層毎 80m に 1 回 〔整正後〕						
						ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕				
14	5	ブロック舗装工(基層工)	整正状況	400m に 1 回 〔整正後〕						
			タックコート プライムコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕						
15		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕						
				ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）」（国土交通省）による場合は各層毎1工事に1回 〔施工後〕						
16		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕						
17		オーバーレイ工	平坦性	1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕						
			タックコート	各層毎に 1 回 〔散布時〕						
			整正状況	400m に 1 回 〔施工後〕						

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕					
3	2	7	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40m に1回 〔施工後〕					
					置換工	置換厚さ 幅	40m 又は1施工箇所に1回 〔施工後〕					
					表層安定処理工 (サンドマット工)	施工厚さ 幅	40m 又は1施工箇所に1回 〔施工後〕					
					パイルネット工	厚さ 幅	40m 又は1施工箇所に1回 〔施工後〕					
					7	バーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工)	打込長 出来ばえ	200m ² 又は1施工箇所に1回 〔打込前後〕				
							8	杭径 位置・間隔	200m ² 又は1施工箇所に1回 〔打込後〕			
								砂の投入量	全数量 〔打込前後〕			
					9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所に1回 〔打込後〕			
								深度	1施工箇所に1回 〔打込前後〕			
									ただし、(スラリー攪拌工)において、「 施工履歴データを用いた出来形管理要領(固 結工(スラリー攪拌工)編)(案)」(国土 交通省)により出来形管理資料を提出する場 合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省 略できる。			
					9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m ³ ~4,000m ³ につき1回、又は施工延 長 40m(測点間隔 25m の場合は 50m)につき 1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕	ただし、「施工履歴データを用いた出来形管 理要領(表層安定処理等・中層地盤改良工事 編)(案)」(国土交通省)により出来形管 理資料を提出する場合は、出来形管理に関わ る写真管理項目を省略できる。		
					10	仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m 又は1施工箇所に1回 〔打込前〕	
										数量	全数量 〔打込後〕	
							5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所に1回 〔削孔後〕	
					配置誤差	1施工箇所に1回 〔施工後〕						
5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法長	200m 又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、根入部は 40m に1回								

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	天端幅 法長	250m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	
			5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	出来ばえ	250m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	
			9		地中連続壁工 (壁式)	連壁の長さ 変位	40m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	
			10		地中連続壁工 (柱列式)	連壁の長さ 変位	40m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕	
			21		法面吹付工		第3編 2-14-3 吹付工 に 準 ず る	
		1	1	鋳造品 (金属支承工)	製作状況	適宜 〔製作中〕		
		1	2	鋳造品 (大型ゴム支承工)	製作状況	適宜 〔製作中〕		
		1	3	仮設材製作工	原寸状況	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔原寸時〕		
					製作状況	1 施 工 箇 所 に 1 回 〔製作中〕		
		1	4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1 施 工 箇 所 に 1 回 〔仮組立時〕		
		3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施 する場合) (シミュレーション仮組立 検査を行う場合)	原寸状況	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔原寸時〕	※シミュレー ション仮組立 検査の場合は 仮組立寸法を 省略	
					製作状況	適宜 〔製作中〕		
					仮組立寸法 (撮影項目は適 宜)	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔仮組立時〕		
		3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施しない 場合)	原寸状況	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔原寸時〕		
					製作状況	適宜 〔製作中〕		
4		検査路製作工	原寸状況	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔原寸時〕				
			製作状況	適宜 〔製作中〕				
5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔原寸時〕				
			製作状況	適宜 〔製作中〕				
			仮組立寸法	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔仮組立時〕				
6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔原寸時〕				
			製作状況	適宜 〔製作中〕				
7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1 橋 に 1 回 又は 1 工 事 に 1 回 〔原寸時〕				

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工	8		アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
			9		プレビーム用桁製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕		
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		
			10		鋼製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕		
		製作状況				適宜 〔製作中〕			
		13 橋梁架設工		11		工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 〔使用前後〕	
							素地調整状況 (塗替)	部材別 〔施工前後〕	
							塗装状況	各層毎に1回 〔塗装後〕	
	架設状況						架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕		
			1		架設工（鋼橋） （クレーン架設） （ケーブルクレーン架設） （ケーブルエレクション架設） （架設桁架設） （送出し架設） （トラバークレーン架設）	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕		
						架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕		
			2		架設工（コンクリート橋） （クレーン架設） （架設桁架設） 架設工支保工 （固定） （移動） 架設桁架設 （片持架設） （押出し架設）	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕		
架設状況						架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕			
14 法面工（共通）	2	1	1	植生工 （種子散布工） （張芝工） （筋芝工） （市松芝工） （植生シート工、植生マット工） （植生筋工） （人工張芝工） （植生穴工）	材料使用量	1工事に1回 〔混合前〕			
					土羽土の厚さ	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工中〕			
					法長	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔施工後〕			
	2	2	2	植生工 （植生基材吹付工） （客土吹付工）	清掃状況	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔清掃後〕			
					ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔吹付前〕			
					厚さ(検測孔)	200m ² 又は 1 施工箇所 に 1 回 〔吹付後〕			

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
3 土木工事共通編	2 一般施工	14 法面工（共通）	3		吹付工 （コンクリート） （モルタル）	法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
						材料使用量	1 工事に 1 回 〔混合前〕		
						清掃状況	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔清掃後〕		
						ラス鉄網の重ね 合せ寸法	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔吹付前〕		
						法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
						厚さ(検測孔)	200m ² 又は 1 施工箇所に 1 回 〔吹付後〕		
				4	1	法枠工 （現場打法枠工） （現場吹付法枠工）	法長 幅 高さ 枠中心間隔	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕 ただし、「空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」（国土交通省）に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることが出来る。	
				4	2	法枠工 （プレキャスト法枠工）	法長	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	
				6		アンカー工	削孔深さ	1 施工箇所に 1 回 〔削孔後〕	
			配置誤差				1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
			15 擁壁工（共通）	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工中〕	
							厚さ 幅 高さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔型枠取外し後〕	
				2		プレキャスト擁壁工	据付状況	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔埋戻し前〕	
				3		補強土壁工 （補強土（テールアルメ） 壁工法） （多数アンカー式補強土工 法） （ジオテキスタイルを用い た補強土工法）	厚さ 控え長さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	
		4			井桁ブロック工	裏込厚さ	120m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工中〕		
						法長 厚さ	200m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕		
		17 床版工	2		床版工	幅 厚さ 鉄筋の有効高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1 スパンに 1 回 〔打設前後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第4編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
4 河川編	1 築堤・護岸	3 護岸基礎工	3		基礎工		第3編2-4-3基礎工（護岸）に準ずる。	
			4		矢板工		第3編2-3-4矢板工に準ずる。	
		4 矢板護岸工	3		笠コンクリート工		第3編2-4-3基礎工（護岸）に準ずる。	
			4		矢板工		第3編2-3-4矢板工に準ずる。	
		5 法覆護岸工	3		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工に準ずる。	
			4		護岸付属物工	幅 高さ	1 施工箇所に1回 〔施工後〕	
			5		緑化ブロック工		第3編2-5-4緑化ブロック工に準ずる。	
			6		環境護岸ブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工に準ずる。	
			7		石積（張）工		第3編2-5-5石積（張）工に準ずる。	
			8		法枠工		第3編2-14-4法枠工に準ずる。	
			9	1	多自然型護岸工 （巨石張り） （巨石積み）		第3編2-3-26 多自然型護岸工（巨石張り、巨石積み）に準ずる。	
			9	2	多自然型護岸工 （かごマット）		第3編2-3-26 多自然型護岸工（かごマット）に準ずる。	
			10		吹付工		第3編2-14-3吹付工に準ずる。	
			11		植生工		第3編2-14-2植生工に準ずる。	
			12		覆土工		第1編2-3-5法面整形工に準ずる。	
			13	1	羽口工 （じゃかご）		第3編2-3-27 羽口工（じゃかご）に準ずる。	
			13	2	羽口工 （ふとんかご） （かご枠）		第3編2-3-27 羽口工（ふとんかご、かご枠）に準ずる。	
		13	3	羽口工 （連節ブロック張り）		第3編2-5-3コンクリートブロック工に準ずる。		
		6 擁壁護岸工	3		場所打擁壁工		第3編2-15-1 場所打擁壁工に準ずる。	
			4		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁工に準ずる。	
		7 根固め工	3		根固めブロック工		第3編2-3-17 根固めブロック工に準ずる。	
			5		沈床工		第3編2-3-18 沈床工に準ずる。	
			6		捨石工		第3編2-3-19 捨石工に準ずる。	
			7	1	かご工 （じゃかご）		第3編2-3-27 羽口工（じゃかご）に準ずる。	
			7	2	かご工 （ふとんかご）		第3編2-3-27 羽口工（ふとんかご、かご枠）に準ずる。	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第4編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
4 河川編	1 築堤・護岸	8 水制工	3		沈床工		第3編2-3-18 沈床工に準ずる。	
			4		捨石工		第3編2-3-19 捨石工に準ずる。	
			5	1	かご工 (じゃかご)		第3編2-3-27 羽口工(じゃかご)に準ずる。	
			5	2	かご工 (ふとんかご)		第3編2-3-27 羽口工(ふとんかご、かご枠)に準ずる。	
			8		杭出し水制工	径 杭長	1 施工箇所1回 〔打込み前〕	
					幅 方向	1 施工箇所1回 〔施工後〕		
		9 付帯道路工	3		路側防護柵工		第3編2-3-8 路側防護柵工に準ずる。	
			5		アスファルト舗装工		第3編2-6-7 アスファルト舗装工に準ずる。	
			6		コンクリート舗装工		第3編2-6-12 コンクリート舗装工に準ずる。	
			7		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13 薄層カラー舗装工に準ずる。	
	8			ブロック舗装工		第3編2-6-14 ブロック舗装工に準ずる。		
	9			側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)		第3編2-3-29 側溝工に準ずる。		
	10			集水柵工		第3編2-3-30 集水柵工に準ずる。		
		11		縁石工		第3編2-3-5 縁石工に準ずる。		
		12		区画線工		第3編2-3-9 区画線工に準ずる。		
		10 付帯道路施設工	3		道路付属物工		第3編2-3-10 道路付属物工に準ずる。	
	3 樋門・樋管	3 樋門・樋管 本体工	3		既製杭工		第3編2-4-4 既製杭工に準ずる。	
			4		場所打杭工		第3編2-4-5 場所打杭工に準ずる。	
			5		矢板工		第3編2-3-4 矢板工に準ずる。	
			6	1	函渠工 (本体工)	厚さ 幅 内空幅 内空高	1 施工箇所1回 〔型枠取外し後〕	
6			2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	据付状況	120m 又は1 施工箇所に1回 〔巻立前〕		
6			3	函渠工 (PC函渠)		第3編2-3-28 プレキャストカルバート工に準ずる。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第4編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
4 河川編	3 樋門・樋管	3 樋門・樋管 本工	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所1回 〔型枠取外し後〕		
			8		水叩工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所1回 〔型枠取外し後〕		
		4 護床工	3		根固めブロック工			第3編2-3-17 根固めブロック工に準ずる。	
			5		沈床工			第3編2-3-18 沈床工に準ずる。	
			6		捨石工			第3編2-3-19 捨石工に準ずる。	
			7	1	かご工 (じゃかご)			第3編2-3-27 羽口工(じゃかご)に準ずる。	
			7	2	かご工 (ふとんかご)			第3編2-3-27 羽口工(ふとんかご、かご枠)に準ずる。	
		5 水路工	3		側溝工			第3編2-3-29 側溝工(場所打水路工)に準ずる。	
			4		集水柵工			第3編2-3-30 集水柵工に準ずる。	
			5		暗渠工			第3編2-3-29 側溝工(暗渠工)に準ずる。	
			6		樋門接続暗渠工			第3編2-3-28 プレキャストカルバート工に準ずる。	
		6 付属物設置工	3		防止柵工			第3編2-3-7 防止柵工に準ずる。	
			7		階段工 (現場打階段) (プレキャスト階段)			第3編2-3-22 階段工に準ずる。	
	4 床止め・床固め	3 床止め工	4		既製杭工			第3編2-4-4 既製杭工に準ずる。	
			5		矢板工			第3編2-3-4 矢板工に準ずる。	
			6	1	本工 (床固め本工)	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		
			6	2	本工 (植石張り)			第3編2-5-5 石積(張)工に準ずる。	
			6	3	本工 (根固めブロック)			第3編2-3-17 根固めブロック工に準ずる。	
			7		取付擁壁工			第3編2-15-1 場所打擁壁工に準ずる。	
			8	1	水叩工	幅 高さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕		
8			2	水叩工 (巨石張り)			第3編2-3-26 多自然型護岸工(巨石張り、巨石積み)に準ずる。		
8		3	水叩工 (根固めブロック)			第3編2-3-17 根固めブロック工に準ずる。			
4 床固め工		4		本堤工			第4編4-3-6 本工(床固め本工)に準ずる。		
		5		垂直壁工			第4編4-3-6 本工(床固め本工)に準ずる。		
		6		側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に1回 〔施工後〕			
		7		水叩工			第4編4-3-8 水叩工に準ずる。		
5 山留擁壁工		3		コンクリート擁壁工			第3編2-15-1 場所打擁壁工に準ずる。		
		4		ブロック積擁壁工			第3編2-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		
		5		石積擁壁工			第3編2-5-5 石積(張)工に準ずる。		
		6		山留擁壁基礎工			第3編2-4-3 基礎工(護岸)に準ずる。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第5編 砂防編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
5 砂防編	1 斜面対策	4 法面工	2		植生工		第3編2-14-2植生工に準ずる。	
			3		吹付工		第3編2-14-3吹付工に準ずる。	
			4		法枠工		第3編2-14-4法枠工に準ずる。	
			5	1	かご工 (じゃかご工)		第3編2-3-27羽口工(じゃかご)に準ずる。	
			5	2	かご工 (ふとんかご工)		第3編2-3-27羽口工(ふとんかご、かご枠)に準ずる。	
		5 擁壁工	3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工に準ずる。	
			4		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工に準ずる。	
			5		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁工に準ずる。	
			6		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)		第3編2-15-3補強土壁工に準ずる。	
			7		井桁ブロック工		第3編2-15-4井桁ブロック工に準ずる。	
		8		落石防護工		第6編1-9-5落石防護柵工に準ずる。		
		6 山腹水路工	3		山腹集水路・排水路工		第3編2-3-29側溝工(場所排水路工)に準ずる。	
			4		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	120m又は1施工箇所に1回 (型枠取外し後)	
			5		山腹暗渠工		第3編2-3-29側溝工(暗渠工)に準ずる。	
			6		現場排水路工		第3編2-3-29側溝工(場所排水路工)に準ずる。	
	7			集水柵工		第3編2-3-30集水柵工に準ずる。		
	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	1施工箇所に1回 (施工後)		
		5		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	1施工箇所に1回 (施工後)		
	8 地下水遮断工	3		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工に準ずる。		
		4		固結工		第3編2-7-9固結工に準ずる。		
		5		矢板工		第3編2-3-4矢板工に準ずる。		
	9 抑止杭工	3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工に準ずる。		
		4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工に準ずる。		
		5		シャフト工(深礎工)		第3編2-4-6深礎工に準ずる。		
		6		合成杭工	偏心量 数量	1施工箇所に1回 (施工後) 全数量 (打込後)		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要		
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕			
6 道路編	1 道路改良	3 工場製作工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1 施工箇所に1回 〔製作後〕			
			2	2	遮音壁支柱製作工 (工場塗装工)		第3編2-12-11 工場塗装工に準ずる。			
		4 法面工	2		植生工			第3編2-14-2 植生工に準ずる。		
			3		法面吹付工 (コンクリート) (モルタル)			第3編2-14-3 吹付工に準ずる。		
			4		法枠工			第3編2-14-4 法枠工に準ずる。		
			6		アンカー工			第3編2-14-6 アンカー工に準ずる。		
			7	1	かご工 (じゃかご)			第3編2-3-27 羽口工 (じゃかご) に準ずる。		
			7	2	かご工 (ふとんかご)			第3編2-3-27 羽口工 (ふとんかご、かご 枠) に準ずる。		
			5 擁壁工	3		既製杭工			第3編2-4-4 既製杭工に準ずる。	
		4			場所打杭工			第3編2-4-5 場所打杭工に準ずる。		
		5			場所打擁壁工			第3編2-15-1 場所打擁壁工に準ずる。		
		6			プレキャスト擁壁工			第3編2-15-2 プレキャスト擁壁工に準ずる。		
		7			補強土壁工 (補強土 (テールアルメ) 壁工法) (多数アンカー式補強土工 法) (ジオテキスタイルを用い た補強土工法)			第3編2-15-3 補強土壁工に準ずる。		
		8			井桁ブロック工			第3編2-15-4 井桁ブロック工に準ずる。		
		6 石・ ブロック積 (張) 工					石積 (張) 工		第3編2-5-5 石積 (張) 工に準ずる。	
		7 カル バート 工	6		場所打函渠工	厚さ 幅 (内空) 高さ	100m 又は1 施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕			
			7		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス 工) (プレキャストパイプ工)			第3編2-3-28 プレキャストカルバート工 に準ずる。		
		8 排水 構造物 工	3		側溝工 (プレキャストU型側溝) (コルゲートフリューム) (自由勾配側溝)			第3編2-3-29 側溝工に準ずる。		
			4		管渠工			第3編2-3-29 側溝工に準ずる。		
			5		集水桝・マンホール工			第3編2-3-30 集水桝工に準ずる。		
			6		地下排水工			第3編2-3-29 側溝工 (暗渠工) に準ずる。		
			7		場所打水路工			第3編2-3-29 側溝工 (場所打水路工) に 準ずる。		
			8		排水工 (小段排水・縦排水)			第3編2-3-29 側溝工に準ずる。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
6 道路編	1 道路改良	9 落石防止工	4		落石防止網工	幅	1 施工箇所1回 〔施工後〕	
			5		落石防護柵工	高さ	200m 又は 1 施工箇所1回 〔施工後〕	
		10 遮音壁工	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所1回（施工前は必要に 応じて） 〔施工前後〕	
			5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1 施工箇所1回 〔施工後〕	
	2 舗装	3 舗装工	6	1	半たわみ性舗装工 （下層路盤工）		第3編2-6-8半たわみ性舗装工に準ず る。	
			6	2	半たわみ性舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工		第3編2-6-8半たわみ性舗装工に準ず る。	
			6	3	半たわみ性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処理 工		第3編2-6-8半たわみ性舗装工に準ず る。	
			6	4	半たわみ性舗装工 （加熱アスファルト安定処 理工）		第3編2-6-8半たわみ性舗装工に準ず る。	
			6	5	半たわみ性舗装工 （基層工）		第3編2-6-8半たわみ性舗装工に準ず る。	
			6	6	半たわみ性舗装工 （表層工）		第3編2-6-8半たわみ性舗装工に準ず る。	
			7	1	排水性舗装工 （下層路盤工）		第3編2-6-9排水性舗装工に準ずる。	
			7	2	排水性舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工		第3編2-6-9排水性舗装工に準ずる。	
			7	3	排水性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰）安定処理 工		第3編2-6-9排水性舗装工に準ずる。	
			7	4	排水性舗装工 （加熱アスファルト安定処 理工）		第3編2-6-9排水性舗装工に準ずる。	
7	5	排水性舗装工 （基層工）		第3編2-6-9排水性舗装工に準ずる。				
7	6	排水性舗装工 （表層工）		第3編2-6-9排水性舗装工に準ずる。				
8	1	透水性舗装工 （路盤工）		第3編2-6-10透水性舗装工に準ずる。				
8	2	透水性舗装工 （表層工）		第3編2-6-10透水性舗装工に準ずる。				
9	1	グースアスファルト舗装工 （加熱アスファルト安定処 理工）		第3編2-6-11 グースアスファルト舗装工 に準ずる。				
9	2	グースアスファルト舗装工 （基層工）		第3編2-6-11 グースアスファルト舗装工 に準ずる。				
9	3	グースアスファルト舗装工 （表層工）		第3編2-6-11 グースアスファルト舗装工 に準ずる。				
10		コンクリート舗装工		第3編2-6-12 コンクリート舗装工に準ず る。				

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
6 道路編	2 舗装	3 舗装工	11		薄層カラー舗装工			第3編2-6-13 薄層カラー舗装工に準ずる。	
			12	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)			第3編2-6-14 ブロック舗装工に準ずる。	
			12	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工			第3編2-6-14 ブロック舗装工に準ずる。	
			12	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工			第3編2-6-14 ブロック舗装工に準ずる。	
			12	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)			第3編2-6-14 ブロック舗装工に準ずる。	
			12	5	ブロック舗装工 (基層工)			第3編2-6-14 ブロック舗装工に準ずる。	
			1	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ	各層毎 400m に 1 回〔施工中〕			
					転圧状況	各層毎 400m に 1 回〔修正後〕			
					厚さ	各層毎 200m に 1 回〔修正後〕			
					幅	各層毎 80m に 1 回〔修正後〕			
			2	歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	修正状況	400m に 1 回〔修正後〕			
					タックコート プライムコート	各層毎に 1 回〔散布時〕			
					平坦性	1 工事に 1 回〔実施中〕			
		4 排水構造物工	3	1	側溝工 (L型街渠工) (プレキャストU型側溝工) (管渠型側溝工) (管渠工)			第3編2-3-29 側溝工に準ずる。	
			3	2	側溝工 U型側溝工 (場所打ち) (50cm×50cm 以下の断面のもの)			第3編2-3-29 側溝工に準ずる。	
			5		集水柵(街渠柵)・マンホール工 (街渠柵工) (マンホール工)			第3編2-3-30 集水柵工に準ずる。	
			6		地下排水工			第3編2-3-29 側溝工(暗渠工)に準ずる。	
			7		場所打水路工			第3編2-3-29 側溝工(場所打水路工)に準ずる。	
			8		排水工 (小段排水・縦排水)			第3編2-3-29 側溝工に準ずる。	
	9			排水性舗装用路肩排水工	据付状況	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回〔施工中〕			

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
6 道路編	2 舗装	5	3		縁石工		第3編2-3-5縁石工に準ずる。		
		6	4		踏掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	<コンクリート工> 各部の厚さ 各部の長さ	1 施工箇所1回 〔施工後〕		
						<ラバーシュー> 各部の長さ 厚さ			
						<アンカーボルト> 中心のずれ アンカー長			
		7	3		路側防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工に準ずる。		
							防止柵工	第3編2-3-7防止柵工に準ずる。	
							ボックスビーム工	第3編2-3-8路側防護柵工に準ずる。	
							車止めポスト工	第3編2-3-7防止柵工に準ずる。	
		8	3	1	小型標識工		第3編2-3-6小型標識工に準ずる。		
							大型標識工 (標識基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 〔施工後〕
								大型標識工 (標識柱工)	設置高さ
	9	2		区画線工		第3編2-3-9区画線工に準ずる。			
	11	4		道路付属物工		第3編2-3-10道路付属物工に準ずる。			
						ケーブル配管工 (ハンドホール工)	配管状況	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	
							厚さ 幅 高さ	100m 又は 1 施工箇所に 1 回 〔施工後〕	
						照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に 1 回 (施工前には必要に応じて) 〔施工前〕	
3 橋梁下部	3	2	工場製作工	刃口金物製作工	第3編2-12-1 (一般事項) 刃口金物製作工に準ずる。				
				鋼製橋脚製作工	原寸状況	1 脚に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔原寸時〕			
					製作状況	適宜 〔製作中〕			
		仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1 脚に 1 回又は 1 工事に 1 回 〔仮組立時〕						
		アンカーフレーム製作工	第3編2-12-8アンカーフレーム製作工に準ずる。						
	工場塗装工	第3編2-12-11工場塗装工に準ずる。							
	4	橋台工			既製杭工	第3編2-4-4既製杭工に準ずる。			
					場所打杭工	第3編2-4-5場所打杭工に準ずる。			
					深礎工	第3編2-4-6深礎工に準ずる。			
					オープンケーソン基礎工	第3編2-4-7オープンケーソン基礎工に準ずる。			
ニューマチックケーソン基礎工					第3編2-4-8ニューマチックケーソン基礎工に準ずる。				

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
6 道路編	3 橋梁下部	4 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅（橋軸方向） 敷幅（橋軸方向） 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	
			5	3	既製杭工		第3編2-4-4既製杭工に準ずる。	
				4	場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工に準ずる。	
				5	深礎工		第3編2-4-6深礎工に準ずる。	
				6	オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工に準ずる。	
				7	ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマチックケーソン基礎工に準ずる。	
				8	鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9鋼管矢板基礎工に準ずる。	
				9	1	橋脚躯体工 （張出式） （重力式） （半重力式）	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕
		9	2	橋脚躯体工 （ラーメン式）	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕		
	6 鋼製橋脚工		3	既製杭工		第3編2-4-4既製杭工に準ずる。		
			4	場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工に準ずる。		
			5	深礎工		第3編2-4-6深礎工に準ずる。		
			6	オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工に準ずる。		
			7	ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマチックケーソン基礎工に準ずる。		
			8	鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9鋼管矢板基礎工に準ずる。		
			9	1	橋脚フーチング工 （I型・T型）	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	
			9	2	橋脚フーチング工 （門型）	幅 高さ	全数量 〔型枠取外し後〕	
			10	1	橋脚架設工 （I型・T型）	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	
			10	2	橋脚架設工 （門型）	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 〔架設中〕	
			11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所1回 〔施工後〕	
		12		現場塗装工		第3編2-3-31現場塗装工に準ずる。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
6 道路編	3 橋梁下部	7 護岸基礎工	3		基礎工		第3編2-4-3基礎工（護岸）に準ずる。	
			4		矢板工		第3編2-3-4矢板工に準ずる。	
		8 矢板護岸工	3		笠コンクリート工		第3編2-4-3基礎工（護岸）に準ずる。	
			4		矢板工		第3編2-3-4矢板工に準ずる。	
		9 法覆護岸工	2		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工に準ずる。	
			3		護岸付属物工		第4編1-5-4護岸付属物工に準ずる。	
			4		緑化ブロック工		第3編2-5-4緑化ブロック工に準ずる。	
			5		環境護岸ブロック工		第3編2-5-5石積（張）工に準ずる。	
			6		石積（張）工		第3編2-5-5石積（張）工に準ずる。	
			7		法枠工		第3編2-14-4法枠工に準ずる。	
			8	1	多自然型護岸工 （巨石張り）		第3編2-3-26多自然型護岸工（巨石張り、巨石積み）に準ずる。	
			8	2	多自然型護岸工 （巨石積み）		第3編2-3-26多自然型護岸工（巨石張り、巨石積み）に準ずる。	
			8	3	多自然型護岸工 （かごマット）		第3編2-3-26多自然型護岸工（かごマット）に準ずる。	
			9		吹付工		第3編2-14-3吹付工に準ずる。	
	10			植生工		第3編2-14-2植生工に準ずる。		
	10 擁壁護岸工	3		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工に準ずる。		
		4		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁工に準ずる。		
	4 鋼橋上部	3 工場製作工	3	1	桁製作工		第3編2-12-3桁製作工に準ずる。	
			3	2	桁製作工 （仮組立による検査を省略する場合）		第3編2-12-3桁製作工に準ずる。	
			4		検査路製作工		第3編2-12-4検査路製作工に準ずる。	
			5		鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5鋼製伸縮継手製作工に準ずる。	
			6		落橋防止装置製作工		第3編2-12-6落橋防止装置製作工に準ずる。	
			7		鋼製排水管製作工		第3編2-12-10鋼製排水管製作工に準ずる。	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
6 道路編	4 鋼橋上部	3 工場製作工	8		橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7 橋梁用防護柵製作工に準ずる。		
			9		橋梁用高欄製作工	原寸寸法	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕		
						製作状況	適宜〔製作中〕		
			10	1	横断歩道橋製作工		第3編2-12-3桁製作工に準ずる。		
			10	2	横断歩道橋製作工 (仮組立による検査を省略する場合)		第3編2-12-3桁製作工に準ずる。		
			11	1	鋳造品（金属支承工）		第3編2-12-1鋳造品に準ずる。		
			11	2	鋳造品（大型ゴム支承工）		第3編2-12-1鋳造品に準ずる。		
			12		アンカーフレーム製作工		第3編2-12-8アンカーフレーム製作工に準ずる。		
		13		工場塗装工		第3編2-12-11工場塗装工に準ずる。			
		4 鋼橋架設工	4		架設工 (クレーン架設)			第3編2-13架設工（鋼橋）に準ずる。	
			5		(ケーブルクレーン架設)				
			6		(ケーブルエレクション架設)				
			7		(架設桁架設)				
		8		(送出し架設)					
	9		(トラベラークレーン架設)						
	10	1	支承工（鋼製支承）	支承取付状況	1スパンに1回〔取付後〕				
	10	2	支承工（ゴム支承）	支承取付状況	1スパンに1回〔取付後〕				
	5 橋梁現場塗装工	3		現場塗装工			第3編2-3-31現場塗装工に準ずる。		
	6 床版工	2		床版工			第3編2-17-2床版工に準ずる。		
	7 橋梁付属物工	2	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)			第3編2-3-24伸縮装置工に準ずる。		
		2	2	伸縮装置工 (鋼フィンガージョイント)			第3編2-3-24伸縮装置工に準ずる。		
		3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の 削孔長	1施工箇所1回 〔削孔後〕			
		5		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	1施工箇所1回 〔施工後〕			
		6		橋梁用防護柵工	幅	1施工箇所1回 〔施工後〕			
		7		橋梁用高欄工	高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕			
	8		検査路工	幅 高さ	1施工箇所1回 〔施工後〕				

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
6 道路編	4 鋼橋上部	8 歩道橋本体工	3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工に準ずる。	
			4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工に準ずる。	
			5		橋脚フーチング工 (I型) (T型)		第6編3-6-9橋脚フーチング工 (I型・T型) に準ずる。	
			6		歩道橋 (側道橋) 架設工		第3編2-13 (鋼橋) に準ずる。	
			7		現場塗装工		第3編2-3-31 現場塗装工に準ずる。	
	5 コンクリート橋上部	3 工場製作工	2		プレビーム用桁製作工		第3編2-12-9プレビーム用桁製作工に準ずる。	
			3		橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7橋梁用防護柵製作工に準ずる。	
			4		鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5鋼製伸縮継手製作工に準ずる。	
			6		工場塗装工		第3編2-12-11工場塗装工に準ずる。	
			7		鋳造品		第3編2-12-1鋳造品に準ずる。	
		4 PC橋工	2	1	プレテンション桁製作工 (購入工) (桁橋)		第3編2-3-12プレテンション桁製作工 (購入工) に準ずる。	
			2	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ橋)		第3編2-3-12プレテンション桁製作工 (購入工) に準ずる。	
			3		ポストテンション桁製作工		第3編2-3-13ポストテンション桁製作工に準ずる。	
			4		プレキャストセグメント製作工 (購入工)		第3編2-3-13プレキャストセグメント製作工 (購入工) に準ずる。	
			5		プレキャストセグメント主桁組立工		第3編2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工に準ずる。	
			6		支承工		第6編4-4-10支承工に準ずる。	
			7		架設工 (クレーン架設)		第3編2-13架設工 (コンクリート橋) に準ずる。	
			8		架設工 (架設桁架設)		第3編2-13架設工 (コンクリート橋) に準ずる。	
			9		床版・横組工		第3編2-17-2床版工に準ずる。	
			10		落橋防止装置工		第6編4-7-3落橋防止装置工に準ずる。	
5 プレビーム桁橋工	2			原寸寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕			
				製作状況	適宜 〔製作中〕			
				仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立寸法〕			
				幅高さ	桁毎に1回 〔型枠取外し後〕			
	6		床版・横組工		第3編2-17-2床版工に準ずる。			

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
6 道路編	5 コンクリート橋上部	6 PCホロースラブ橋工	3	1	支承工 (鋼製支承)		第6編4-4-10 支承工に準ずる。	
			3	2	支承工 (ゴム支承)		第6編4-4-10 支承工に準ずる。	
		6 7	4 4	PCホロースラブ製作工 RC場所打ホロースラブ 製作工		第3編2-3-15 PCホロースラブ製作 工に準ずる。		
		8	2	PC版桁製作工				
		9 1 0	4 2	PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作工		第3編2-3-16 PC箱桁製作工に準ず る。		
		11	2	PC押し箱桁製作工		第3編2-3-16 PC押し箱桁製作工 に準ずる。		
		12 橋梁付 属物工	2	伸縮装置工 (ゴムジョイント)		第3編2-3-24 伸縮装置工に準ずる。		
			2	伸縮装置工 (鋼フィンガージョイン ト)		第3編2-3-24 伸縮装置工に準ずる。		
			4	地覆工		第6編4-7-5 地覆工に準ずる。		
			5 6	橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工		第6編4-7-6 橋梁用防護柵工、第6 編4-7-7 橋梁用高欄工に準ずる。		
	6 トンネル (NATM)	4 支保工	3		吹付工	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	
						湧水状況	適宜〔掘削中〕	
吹付面の清掃 状況						80mに1回 〔清掃後〕		
金網の重ねせ 状況						80mに1回〔2次吹付前〕		
吹付け厚さ (検測孔)						80mに1回〔吹付後〕		
4				ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は80mに1断面 〔穿孔中〕		
					ロックボルト 注入量	施工パターン毎又は80mに1断面〔注入中〕		
					ロックボルト 打設後の状況	施工パターン毎又は80mに1断面〔打設後〕		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要						
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕							
6 道路編	6 トンネル (NATM)	5 覆工	3		覆工コンクリート工	覆工 (巻立空間)	1 セントルに1回 〔型枠組立後〕							
						覆工 (厚さ)	1 セントルに1回 〔型枠取外し後〕							
						幅 高さ	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕							
			5		床版コンクリート工	幅 高さ	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕							
		6 イン パ ー ト 工	4			インパ ー ト 本 体 工	インパ ー ト (厚さ)	40m 又は1 施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕						
	幅 (全幅)						200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕							
		7 坑内 付 帯 工	5		地下排水工		第3編2-3-29 側溝工 (暗渠工) に準ず る。							
	8 坑 門 工	4			坑門本 体 工	幅 高さ	1 施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕							
						5	明り巻工		覆工 (巻立空間)	40m 又は1 施工箇所 に1回 〔型枠組立後〕				
			覆工 (厚さ)	40m 又は1 施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕										
					幅 (全幅) 高さ (内法)	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕								
9 共同 溝	3 工場 製 作 工	3			工場塗 装 工		第3編2-12-11 工場塗 装 工 に 準 ず る。							
	5 現場 打 構 築 工	2				現場打 軀 体 工	厚さ 内空幅 内空高	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔型枠取外し後〕						
							4	カラ ー 継 手 工		厚さ 幅 長さ	1 施工箇所 に1回 〔設置後〕			
										5	1	防水工 (防水)	幅	100m 又は1 施工箇所 に1回 〔施工後〕
													5	2
5	3	防水工 (防水壁)	高さ 幅 厚さ	1 施工箇所 に1回 〔施工後〕										
9 共同 溝	6 プレ キ ャ ス ト 構 築 工	2			プレキ ャ ス ト 軀 体 工	据付状 況	200m 又は1 施工箇所 に1回 〔埋戻し前〕							

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第6編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
6 道路編	10 電線共同溝	5 電線共同溝工	2		管路工（管路部）	敷設状況	100m 又は 1 施工箇所 に 1 回〔敷設後〕	
			3		プレキャストボックス工（特殊部）	据付状況	100m 又は 1 施工箇所 に 1 回〔据付後〕	
			4		現場打ちボックス工（特殊部）	厚さ 内空部 内空高	100m 又は 1 施工箇所 に 1 回〔型枠取外し後〕	
		6	2	ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回〔型枠取外し後〕		
	11 情報ボックス工	3 情報ボックス工	3		管路工（管路部）		第6編 10-5-2 管路工（管路部）に準ずる。	
			4	2	ハンドホール工		第6編 10-6-2 ハンドホール工に準ずる。	
	13 道路修繕	3 工場製作工	4		桁補強材製作工	原寸状況	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔原寸時〕	
						製作状況	適宜〔製作中〕	
						仮組立寸法	1 橋に 1 回又は 1 工事に 1 回〔仮組立時〕	
		4 舗装工	3	3		路面切削工		第3編 2-6-15 路面切削工に準ずる。
4					舗装打換え工		第3編 2-6-16 舗装打換え工に準ずる。	
5					切削オーバーレイ工	平坦性	1 施工箇所 に 1 回〔施工後〕	
						タックコート	各層毎に 1 回〔散布時〕	
						整正状況	400m に 1 回〔施工後〕	
6					オーバーレイ工		第3編 2-6-17 オーバーレイ工に準ずる。	
7					路上再生工	敷均厚 転厚状況	各層毎 400m に 1 回〔施工中〕	
		整正状況 厚さ				各層毎 400m に 1 回〔整正後〕		
8				薄層カラー舗装工		第3編 2-6-13 薄層カラー舗装工に準ずる。		
18 鋼桁工		3			鋼桁補強工		第6編 13-3-4 桁補強材製作工に準ずる。	
19 橋梁支承工	3 4			鋼桁支承工 PC橋支承工		第6編 4-4-10 支承工に準ずる。		
23 場場塗装	6			コンクリート面塗装工		第3編 2-3-11 コンクリート面塗装工に準ずる。		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【その他（第1編～第6編の関連事項）】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
その他					舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	1 施工箇所につき1回 〔施工中〕	
					トンネル関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	1 施工箇所につき1回 〔埋戻し前〕	
						トンネル (矢板工法)	岩質	岩質の変わる毎につき1回 〔掘削中〕	
							湧水状況	適宜 〔掘削中〕	
							埋設支保工（建込間隔、寸法、基数）	100m 又は 1 施工箇所につき1回 〔建込後〕	
							湧水処理工設置状況	全数量 〔設置後〕	
							集水柵（幅、高さ、位置）	100m 又は 1 施工箇所につき1回 〔設置後〕	
							地下排水工（管接合据付状況）		
							地下排水工（フィルター厚さ）		
							矢板設置状況	岩質の変わる毎につき1回 〔設置後〕	
							グラウト材料使用量	全数量 〔使用前後〕	
							シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎につき1回 〔掘削中〕
						セグメント組立状況	1 工事に1回 〔組立後〕		
						二次覆工（セグメント清掃状況）	1 工事に1回 〔清掃後〕		
					二次覆工の厚さ	1 スパンにつき1回 〔型枠取外し後〕			
					維持修繕工関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回 〔施工前後〕	
						コンクリート舗装	目地掃除	3,000m ² に1回 〔施工前後〕	
							目地充填	3,000m ² に1回 〔施工前後〕	
							注入工、削孔状況（位置、間隔）	2,000m ² に1回 〔削孔後〕	
							注入工、注入圧	2,000m ² に1回 〔注入時〕	
							目地亀裂防止材、張付け状況	3,000m ² に1回 〔張付け後〕	
							局部打換、各層厚さ	各層毎 100m に1回又は1 施工箇所につき1回 〔施工前後〕	

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【その他（第1編～第6編の関連事項）】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
その他				維持修繕工関係	路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回又は1施工箇所1回 〔施工中〕	
					道路除草	出来ばえ	5kmに1回（1回刈毎） 〔施工前後〕	
					路肩整正	出来ばえ	1kmに1回	
					新設、更新、修理防護削類	出来ばえ	1施工箇所1回（施工前は必要に応じて） 〔施工前後〕	
					新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、出来ばえ	基礎タイプ毎5ヶ所に1回（施工前は必要に応じて） 〔施工前後〕	
					視線誘導標	出来ばえ	施工日に1回 〔施工後〕	
					清掃（路面、標識、側溝、集水桝）	出来ばえ	施工日に1日 〔施工後〕	
					区画線路面表示	出来ばえ	施工日に1回 〔施工前後〕	
						材料使用量	全数量 〔施工前後〕	
					街路樹植樹	出来ばえ	適宜 〔施工前後〕	
					街路樹補強補植	出来ばえ	適宜 〔施工前後〕	
					街路樹剪力	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回 〔施工前後〕	
					街路樹消毒、施肥	出来ばえ	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回 〔施工前後〕	
					街路樹雪囲	出来ばえ	適宜 〔施工後〕	
					排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 〔施工中〕	
					凍結防止剤散布	出来ばえ	施工中に1回 〔施工中〕	
						材料使用量	全数量 〔施工前後〕	
					河川除草	出来ばえ	1kmに1回（1回刈毎） 〔施工前後〕	
					応急処置	処理の状況	その都度（施工前後）	
					鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置・間隔・継手寸法	打設ロット毎に1回又は1施工箇所1回 〔組立後〕
コンクリート打設	打継目処理、締固施工状況	工種別毎に1回 〔施工時〕						
養生	養生状況	工種別毎に1回、養生方法毎に1回 〔養生時〕						

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分		工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考		
						撮影箇所	撮影時期			
8 港湾編	1 共通 的工 種	1 圧密 ・排 水工	1.サンドドレ ン 【海上】	施工管理	使用船舶機器等	杭打船舶機械	組立完了後船舶機械 毎打設			
						記録計器	打設時			
						測量槽等	測量中、槽等毎			
						砂運搬船舶機械	運搬中			
				品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時（種類、 品質及び形状寸法の 異なる毎）			
						品質試験状況	試験時			
			1.サンドドレ ン 【陸上】	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立 時、機械毎	全景		
						その他	発動発電機	現場搬入時、組立 時、機械毎	全景	
						施工状況	作業状況	施工時	全景	
				品質管理	材料の確認	品質試験状況	試験時	全景		
						材料置場	現場搬入時	全景		
			2.敷砂 3.敷砂均し	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時	全景が判明できるよ うに撮影		
						均し船舶機械	均し作業時	均し用具は、作業前 に撮影		
						その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時		
							飛砂防止対策	対策を講じた時		
						品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時（種類、 品質及び形状寸法の 異なる毎）	
								品質試験状況	試験時	
				出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位 置が判明できる背景 を入れる。		
				4.載荷土砂	施工管理	使用船舶機械等	砂運搬船、機械	運搬時、船舶機械毎		
							排砂管設備	敷設時		
								排砂中		
			浚渫船（採取船）				浚渫中			
その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時								
品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時（種類、 品質及び形状寸法の 異なる毎）							
		品質試験状況	試験時							
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位 置が判明できる背景 を入れる。						
5.ペーパードレ ン					8-1-1 圧密・排水工 1.サンドドレンを 適用					

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	1 共通 的工種	1 圧密・排水工	6.グラベルマット	施工管理	使用船舶機械等	運搬及び均し（船舶）機械	作業時	全景が判明できるように撮影 均し用具は、作業前に撮影
					施工状況	砕石投入状況	投入時、規格毎及び作業機	
						砕石均し状況	規格及び作業機械・船種毎	
					その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時	
				品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）	
						品質試験状況	試験時	
		出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位置が確認できる背景を入れる。		
		7.グラベルドレーン	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立時、機械毎	全景	
					その他	アースガマシン、リーダーオーガ、発動発電機、コンプレッサ、トラクターショベル	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
				施工状況	作業状況	施工時	全景	
			品質管理	材料の確認	品質試験状況	試験時	全景	
					材料置場	現場搬入時	全景	
	2 締固工	1.ロッドコンパクション	施工管理	使用施工機械	振動体（パイプロ）	現場搬入時、組立時、機械毎	全景	
					その他	ロッド、リーダー、トラクターショベル、発動発電機、ショベルローダー	現場搬入時、組立時、機械毎	全景
				施工状況	作業状況	施工時	全景	
			品質管理	材料の確認	品質試験状況	試験時	全景	
					材料置場	現場搬入時	全景	
		2.サンドコンパクションパイル【海上】	施工管理	使用船舶機器等	杭打船舶機械	組立完了後船舶機械毎打設時		
					記録計器	打設時		
					測量檣等	測量中、檣等毎		
					砂運搬船舶機械	運搬中		
			品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）		
品質試験状況					試験時			
2.サンドコンパクションパイル【陸上】	施工管理	使用施工機械	クローラクレーン	現場搬入時、組立時、機械毎	全景			
			その他	リーダー、発動発電機、コンプレッサ、トラクターショベル	現場搬入時、組立時、機械毎	全景		
		施工状況		施工時	全景			
	品質管理	材料の確認	材料置場	現場搬入時	全景			
			品質試験状況	試験時	全景			
3.盛上土砂撤去	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影			
			施工状況	撤去状況	撤去中			
			その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時			
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考			
					撮影箇所	撮影時期				
8 港湾編	1 共通 的工 種	2 縮固 工					8-1-1 圧密・排水工 2.敷砂、3.敷砂均し を適用			
		3 固 化 工	1.深層混合処理 杭	施工管理	使用船舶機器等	改良船、材料運搬船、潜水士船、引船、揚錨船	搬入時、船舶機械毎			
	施工状況				測量橋設置、撤去状況	測量橋設置時、改良船位誘導時				
					障害物撤去状況	障害物調査、撤去時				
					改良杭打設状況	試験杭打時、作業時				
					海洋汚染防止対策	対策を講じた時				
					改良船計器類 代表的計器	計測時				
	品質管理		材料の確認	固化材料	現場搬入時、材料毎					
			品質管理試験状況	試験時、試験種類毎						
	2.盛上土砂撤去						8-1-2 縮固工 3.盛上土砂撤去を適用			
	3.敷砂 4.敷砂均し						8-1-1 圧密・排水工 2.敷砂、3.敷砂均し を適用			
	5.事前混合処理		施工管理	使用船舶機器等	主要船舶機械	主要船舶機械	搬入時、船舶機械毎	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影		
					品質管理	材料の貯蔵	貯蔵状況	貯蔵時		
		プラントの設備				全景及び細部	施工時			
		施工状況				混合処理状況	混合作業時			
						処理土運搬状況	運搬時			
						処理土投入状況	投入時			
		品質管理	材料の確認	固化材料	現場搬入時、材料毎					
			品質管理試験状況	試験時、試験種類毎						
			6.表層固化処理	施工管理	使用船舶機器等	主要船舶機械	主要船舶機械	搬入時、船舶機械毎	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影	
						品質管理	材料の貯蔵	貯蔵状況	貯蔵時	
							プラントの設備	全景及び細部	施工時	
							施工状況	配合状況	施工時	
	固化処理状況	施工時								
	品質管理	材料の確認						固化材料	現場搬入時、材料毎	
	配合試験状況	試験時								
	品質管理試験状況	試験時、試験種類毎								
	4 洗掘 防止 工	1.洗掘防止	施工管理	マット類の確認	補強材セット状況	作業中、完了時	作業状況が判明できるように撮影			
					アスファルトコンクリート打設状況	アスファルトコンクリート打設時				
					搬入仮置	搬入仮置時				
					アンカ取付け、加工	取付加工時				
					運搬	運搬時				
					敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時			
			出来形管理	出来形の確認	敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認	敷設完了時	確認箇所が判る背景を入れる。			

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	1 共通 的工 種	5 中 詰 工	1.砂・石材中詰	施工管理	使用船舶機械等	運搬船等	施工時	作業状況が判明できるように撮影
					投入	投入状況	施工時	
					均し	均し状況	施工時	
					締固め	締固め状況	施工時	
			品質管理	品質試験	品質試験状況	試験項目毎	テープ等を同時撮影	
				材料の確認	材料及び作業船等	搬入時に適宜		
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	均し完了後	中詰材の天端とケーソン天端との高低差が判明できるようにテープ等を同時撮影	
			2.コンクリート中詰				無筋・鉄筋コンクリートの関連事項及び8-1-5 砂・石材中詰を適用する。	
			3.プレパックドコンクリート中詰				無筋・鉄筋コンクリートの関連事項及び8-1-5 砂・石材中詰を適用する。	
	6 蓋 コン クリ ート 工	1.蓋コンクリート	施工管理	使用船舶機械等	コンクリートミキサー船及び付属船	コンクリート打設前	コンクリートミキサー船及び付属船の形状がわかるように前方、側面からそれぞれ撮影 作業状況が判明できるように撮影	
				ルーフィング敷設	中詰上面	コンクリート打設前		
			品質管理				2 無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用	
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	打設完了後	蓋コンクリートの施工天端とケーソン又はセルラーブロックの天端との差が判明できるようにテープ等を同時撮影	
	7 蓋 ブ ロ ッ ク 工	1.蓋ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用	
				使用船舶機械等	クレーン等	作業時		
				函台	製作函台	着工時		
			品質管理				無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用する	
			出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用	
型枠				組立完了	組立確認時			
コンクリート				形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影		
完成				完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数個数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）		
仮置状況		仮置時		積重ね段数が判明できるように撮影				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考			
					撮影箇所	撮影時期				
8 港湾編	1 共通 的工 種	7 蓋 ブ ロ ッ ク 工	2.蓋ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	使用する船舶機械等 が判明できるように 撮影		
					据付作業	据付作業状況	据付時	据付作業が判明でき るように撮影		
				出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	据付の全体が判明で きるように撮影		
			3.間詰コンクリ ート	施工管理	使用船舶機械等	コンクリートミキサ ー船及び付属船	コンクリート打設前	8-1-6 蓋コンクリ ート工の関連事項を適 用		
				ルーフィング敷設	中詰上面	コンクリート打設前				
		品質管理						無筋・鉄筋コンクリ ートの関連事項を適 用する		
		8 鋼 矢 板 工	2.鋼矢板	1.先行掘削	施工管理	掘削	掘削状況	作業時		
				矢板の保管	施工管理	保管	保管状況	保管時	全景及びまくら木、 くさび等の変形、転 落防止措置を撮影	
				矢板の積込み		積込み	吊上げ及び積込状況	作業時	使用機械器具、積込 方法が判明できるよ うに撮影	
				矢板の運搬		運搬	運搬状況	作業時	荷くずれ防止措置、 台船への積載状況、 使用船舶機械等が判 明できるように撮影	
				導材の設置		導材	導材の設置状況	作業時	使用材料及び船舶機 械、導材の構造が判 明できるように撮影	
				矢板の建込み		建込み	建込状況（位置出し、 吊込み、建込み等）	作業時	作業状況が判明でき るように撮影	
				矢板の打込み			打込状況	打込状況	作業時	杭打船等の全景、打 込み方法、順序等が 判明できるように撮 影
							ハンマーの種類、型 式等	適宜		
							打込記録中	測定時		
							飛油、騒音防止対策	対策を講じた時	飛油対策、騒音防止 対策等を行った場合	
				継ぎ手部の離脱		離脱	離脱箇所	離脱があった時	離脱部がの状態が判 明できるように撮影 すること。	
				品質管理	矢板の規格、外 観、形状寸法		観察、測定状況	観察、測定時	種類、形状寸法が変 る毎にテープ等を同 時撮影	
		出来形管理	出来形の確認		測定作業状況	施工中及び打込完了時				
		9 控 工	1.控鋼矢板 2.控鋼管 3.腹起 4.タイ材	1.腹起しの取付け	施工管理	取付け及び締付状況	取付け及び完了時			
	タイロッド受杭						8-1-8 鋼矢板工を適 用			
	タイロッド、ワイヤーの 組立て、取付け、 プレキャストコンクリ ート控壁、控杭、控矢 板、控頂部コンクリ ート、場所打コンクリ ート控壁				組立て及び取付状況	施工時	8-1-8 鋼矢板工を適 用 8-6 本体工（ブロッ ク式）を適用 8-14-1 上部コンク リート工を適用			

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	1 共通 的工 種	9 控工	品質管理	腹起し材、タイロッド、 タイワイヤーの規格、 外観、形状寸法	観察、測定状況	観察、測定時	種類、形状寸法が 変る毎にテープ等を 同時撮影	
				タイロッド、タイワイ ヤーの試験杭、矢板の 品質、コンクリートの 品質	引張試験の状況	試験時	8-1-8 鋼矢板工を適 用 8-14-1 上部コンク リート工を適用	
			出来形管理	出来形の確認	測定状況、完成状況	施工中及び取付完了 時		
	10 鋼杭 工	2.鋼杭	施工管理	杭の保管	保管状況	保管時	8-1-8 鋼矢板工 1.先行掘削を適用	
				杭の積込み	吊上げ及び積込状況	作業時	全景及びまくら木、 くさび等の変形、転 落防止措置を撮影	
				杭の運搬	運搬状況	作業時	使用機械器具、積込 方法が判明できるよ うに撮影	
				導材の設置	導材の設置状況	作業時	荷くずれ防止措置、 台船への積載状況、 使用船舶機械等が判 明できるように撮影	
				杭の建込み	建込状況（位置出し、 吊込み、建込み等）	作業時	使用材料及び船舶機 械、導材の構造が判 明できるように撮影	
				杭の打込み	打込状況	作業時	作業状況が判明でき るように撮影	
					ハンマーの種類、型 式等	適宜	杭打船等の全景、打 込み方法、順序等が 判明できるように撮 影	
					打込記録中	測定時		
				飛油、騒音防止対策	対策を講じた時	飛油対策、騒音防止 対策等を行った場合		
				品質管理	杭の規格、外観、 形状寸法	観察、測定状況	観察、測定時	種類、形状寸法が 変る毎にテープ等を 同時撮影
				出来形管理	出来形の確認	測定作業状況	施工中及び打込完了 時	
	11 コン クリ ート 杭工	1.コンクリート 杭					8-1-10 鋼杭工 2.鋼杭を適用	
	12 防食 工	1.電気防食	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士 船、溶接機	取付時	使用する船舶機械等 が判明できるように 撮影	
				製品（陽極）	取付陽極	取付前	取付陽極の部分(1組) 及び取付陽極全体	
				取付け（陽極）	取付状況	取付時	取付状況(水中写真)	
				（電位測定装置）	設置状況	取付時	測定用端子の設置状 況	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考			
					撮影箇所	撮影時期				
8 港湾編	1 共通 的工 種	12 防食 工	1.電気防食	品質管理	形状寸法	測定状況	測定時			
				出来形管理	出来形の確認 (陽極)	取付完了状態	取付完了時	潜水士船による確認 検査状況		
					(電位測定装置)	電位測定	測定時	電位差測定の状況		
			(素地調整)	施工管理	使用機械	ブレーカ、プラスト等	施工時	使用機械器具が判明 できるように撮影		
					施工状況	作業状況	作業中			
				出来形管理	完成	完成全景	完成時			
			2.FRP モルタル ライニング	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士 船、溶接機	取付時	使用する船舶機械等 が判明できるように 撮影		
						施工状況	モルタル注入	施工時		
						製品 (FRP)		取付前、取付後		
				品質管理	出来形管理	形状寸法	測定状況	測定時		
							出来形の確認 (陽極)	取付完了状態	取付完了時	潜水士船による確認 検査状況
							(電位測定装置)	電位測定	測定時	電位差測定の状況
		(素地調整)		施工管理	使用機械	ブレーカ、プラスト等	施工時	使用機械器具が判明 できるように撮影		
						施工状況	作業状況	作業中		
				出来形管理	完成	完成全景	完成時			
		(モルタル工)		施工管理	使用機械	ブレーカ、プラスト等	施工時	使用機械器具が判明 できるように撮影		
						施工状況	作業状況	作業中		
						出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	
			品質管理	出来形管理	形状寸法	測定状況	測定時			
						出来形の確認 (陽極)	取付完了状態	取付完了時	潜水士船による確認 検査状況	
						(電位測定装置)	電位測定	測定時	電位差測定の状況	
		3.ペトロラタム ライニング	施工管理	使用船舶機械等	曳船、台船、潜水士 船、溶接機	取付時	使用する船舶機械等 が判明できるように 撮影			
					製品 (FRP)		取付前、取付後			
					施工状況	設置状況	取付時	FRP ライニング材 の設置状況		
			品質管理	出来形管理	形状寸法	測定状況	測定時			
						出来形の確認 (陽極)	取付完了状態	取付完了時	潜水士船による確認 検査状況	
						(電位測定装置)	電位測定	測定時	電位差測定の状況	
			(素地調整)	施工管理	使用機械	ブレーカ、プラスト等	施工時	使用機械器具が判明 できるように撮影		
						施工状況	作業状況	作業中		
				出来形管理	完成	完成全景	完成時			
			(モルタル工)	施工管理	使用機械	ブレーカ、プラスト等	施工時	使用機械器具が判明 できるように撮影		
						施工状況	作業状況	作業中		
						出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	
		品質管理		出来形管理	形状寸法	測定状況	測定時			
						出来形の確認 (陽極)	取付完了状態	取付完了時	潜水士船による確認 検査状況	
						(電位測定装置)	電位測定	測定時	電位差測定の状況	
		4.コンクリート 被覆	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時	使用する船舶機械等 が判明できるように 撮影			
					被覆防食の作業状 況	施工状況	施工時			
					出来形管理	出来形の確認	被覆防食完了状態	完了時	完了の部分(1 箇所) 及び正面全体と延長 方向を撮影	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	1 共通 的工 種	12 防食 工	5.防食塗装	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時	曳船、台船、コンプレッサー等が判明できるように撮影
					塗装	施工状況	施工時、各層毎	
		出来形管理	出来形の確認	塗装完了状態	完了時	完了の部分(1箇所)及び正面全体と延長方向を撮影		
	13 路床 工	1.不陸整正	施工管理	路床	路床	施工状況	作業時	
					路床	施工状況	作業時	
					路床	施工状況	作業時	
	14 コン クリ ート 舗装 工	1.下層路盤 2.上層路盤	施工管理	路盤	路盤材料均し、転圧、締固め	路盤材料均し、転圧、締固め	上層、下層作業中	
					品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	路盤の厚さが判明できるように撮影	
		3.コンクリート舗装 4.目地 5.小口止め	施工管理	コンクリート舗装、目地	型枠据付時の路盤確認、型枠組立て、組外し、コンクリートの運搬及び打設	型枠据付時の路盤確認、型枠組立て、組外し、コンクリートの運搬及び打設	作業時	各作業が判明できるように撮影
					締固め及び表面仕上げ	締固め及び表面仕上げ		
					ダウエルバー、タイバー、目地材及び鉄網の設置	ダウエルバー、タイバー、目地材及び鉄網の設置		
					養生	養生		
	小口止め	小口止め	施工状況	作業時				
	品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	主要資材については品質管理基準の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影 無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用			
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	コンクリート舗装の鉄網、目地及び舗設厚さが判明できるように撮影			
	15 アス ファ ルト 舗装 工	1.下層路盤 2.上層路盤	施工管理	路盤	路盤	路盤		8-1-14 コンクリート舗装工 1.下層路盤、2.上層路盤を適用
					路盤	路盤		
3.基層 4.表層		施工管理	基層、表層	型枠組立て	型枠組立て	作業時	各作業が判明できるように撮影	
タックコート、プライムコート散布	タックコート、プライムコート散布							
品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	主要資材については品質管理基準の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	1 共通 的工種	15 アス ファ ルト 舗 装 工	3.基層 4.表層	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	舗設厚さが判明できるように撮影
		16 植 生 工	1.張芝 2.筋芝	施工管理	使用機械器具等	転圧機械、打固め器具等	搬入時	使用機器の規格、形状等が判明できるように撮影
	施工状況					材料の管理	施工時	材料の管理状況が判明できるように撮影
	土の敷均し、肥料の散布状況					施工時	土の敷均し厚、肥料の散布状況が判明できるように撮影	
	芝の張付け					施工時	剥離しやすい箇所の固定、ローラ等による鎮圧状況が判明できるように撮影	
	品質管理 出来形管理		使用材料 植生状況	土、芝、肥料 施工前区域	搬入前、施工前、 全体区域及び部分	芝、肥料の種類、土の性状等が判明できるように撮影 全体区域、部分的に 施工前及び完成の状況が判明できるように撮影		
				完成区域	施工完了後、 全体区域及び部分			
	3.播種 4.種子吹付		施工管理	使用機械器具等	整地、鎮圧、散布機械等	搬入時	使用機器の規格、形状等が判明できるように撮影	
					施工状況	材料の管理	施工時	材料の管理状況が判明できるように撮影
					種子の播き付け、土の敷均し等	施工時、工程毎	作業状況が判明できるように撮影	
			品質管理	使用材料	土、種子、肥料、土壌改良剤、養生剤等	搬入時	種子、肥料等材料の種類、品質が判明できるように撮影	
			出来形管理	植生状況	施工前区域	施工前、全体区域及び部分	全体区域、部分的に 施工前及び完成の状況が判明できるように撮影	
					完成区域	施工完了後、全体区域及び部分	全体区域、部分的に 施工前及び完成の状況が判明できるように撮影	
	5.植栽	施工管理	使用機械器具等	掘削機械、締固め器具	搬入時	使用機器の規格、形状が判明できるように撮影		

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	1 共通の工種	16 植生工	施工管理	施工状況	運搬機械、材料管理		材料の管理状況が判明できるように撮影	
					土の敷均し、肥料の散布状況	施工前	土の敷均し、肥料の散布状況が判明できるように撮影	
					根回し、運搬、植穴、植付け、名札等の状況	施工時、工程毎	植樹の施工状況が判明できるように撮影	
			品質管理	使用材料	土、肥料等	搬入時	土の性状、肥料の種類が判明できるように撮影	
					樹木	搬入時、種類毎	樹木の形状が判明できるように撮影	
			出来形管理	植樹状況	施工前区域	施工前、全体区域及び部分	全体区域、部分的に施工前及び完成状況が判明できるように撮影	
	完成区域	施工完成後、全体区域及び部分						
	2 土捨工	1 排砂管設備工	1.排砂管設備	施工管理	排砂管設備	排砂管、零号等設置撤去	布設撤去の作業時	設置状況が判明できるように撮影
						2.土運船運搬	施工管理	土砂の運搬状況
		3 揚土土捨工	1.バージアンローダー揚土 2.空気圧送揚土 3.リクレーマ揚土 4.バックホウ揚土	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影
	バージンアンローダー揚土、空気圧送揚土				排砂状況	排砂時		
	海洋汚染防止対策				余水吐における濁り防止処置、設置及び状態	特記仕様書の内容に対応させる		
	リクレーマ揚土 バックホウ揚土				土砂の揚土状況	揚土作業時		
	3 海上地盤改良工	1 床掘工	1.ポンプ床掘	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影
					床掘	床掘位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる。
中継船設置、撤去						設置撤去の作業時		
障害物除去				床掘状況 障害物積込状況	浚渫作業時、作業船毎、積込時	床掘位置が判明できる背景を入れる。		
				運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬毎適宜	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影		
				障害物捨込状況	捨込時			
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測量作業時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考
					撮影箇所	撮影時期	
8 港湾編	3 海上地盤改良工	1 床掘工	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影
				床掘	床掘位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる。
					床掘状況	床掘作業時、作業船毎	船団の配置及び床掘位置が判明できる背景を入れる。
					土質状況 障害物積込状況	床掘作業時 積込時	位置、深度又は層を明記する。
				障害物除去	運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬毎適宜	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影
					障害物捨込状況	捨込時	
		出来形管理	出来形の確認	測定状況	測量作業時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	
		2 排砂管設備工					8-2-1 排砂管設備工を適用
		3 土運船運搬工					8-2-2 土運船運搬工を適用
		4 揚土捨工					8-2-3 揚土捨工を適用
		5 置換工	1.置換材 2.置換材均し	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時
	均し船舶機械					均し作業時	均し用具は、作業前に撮影
	その他				海洋汚染防止対策	対策を講じた時	
					飛砂防止対策	対策を講じた時	
	品質管理			材料の確認	材料	現場搬入時 (種類、品質及び形状寸法の異なる毎)	
					品質試験状況	試験時	
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。		

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	3 海上地盤改良工	6 圧密・排水工					8-1-1 圧密・排水工 1.サントドレーン、2.敷砂、3.敷砂均し、4. 載荷土砂、5.ペーパードレーンを適用	
		7 締固工					8-1-2 締固工 2.サドコンパクションパ、3.盛上土砂撤去、4. 敷砂、5.敷砂均しを適用	
		8 固化工					8-1-3 固化工 1.深層混合処理杭、3. 敷砂、4.敷砂均しを適用	
4 基礎工	1 基礎盛砂工	1.盛砂 2.盛砂均し	施工管理	使用船舶機械等	運搬船舶機械	投入時	全景が判明できるように撮影	
					均し船舶機械	均し作業時		均し用具は、作業前に撮影
				その他	海洋汚染防止対策	対策を講じた時		
			品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時（種類、品質及び形状寸法の異なる毎）		
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	
	2 洗掘防止工						8-1-4 洗掘防止工を適用	
	3 基礎捨石工	1.基礎捨石 2.捨石本均し 3.捨石荒均し	施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前後		
				陸上運搬	ストック、積み、運搬状況	運搬時	使用機械作業状況等が判明できるように撮影	
				捨石投入	投入状況	投入時、捨石規格毎及び作業船種毎		
				捨石均し	均し状況	規格及び作業船毎		
			品質管理	材料試験	試験状況	試験時	公的機関が実施する場合は省略できる。	
				材料の確認	産地・規格毎	搬入時	スタッフ、テープ等を同時撮影	
			出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時		
4 袋詰コンクリート工						無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用		

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	4 基礎工	5 基礎ブロック工	1.基礎ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影
					使用船舶機械等	クレーン等	作業時	使用する機械等の種類が判明できるように撮影
					函台	製作函台	着工時	
			品質管理				無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用	
			出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用	
				型枠	組立完了	組立確認時	函台、函台の平坦性（敷砂等）及び剥離剤（ルーフィング等）敷設状況の撮影	
				コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影	
				完成	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影（全個数確認必要枚数撮影）	
					仮置状況	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影	
			2.基礎ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
	据付作業	据付作業状況			据付時	据付作業が判明できるように撮影		
	出来形管理	出来形の確認		測定状況	目地測定時及び法線出入の測定時	据付の全体が判明できるように撮影		
		6 水中コンクリート工					無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用	
		7 水中不分離性コンクリート工					無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	5 本体工（ケーソン式）	1 ケーソン製作工	1.ケーソン製作用台船	施工管理	使用船舶機械等	フローティングドック、引船、起重機船、運搬船、クレーン運搬機械等	作業時	使用する船舶、機械の種類が判明できるように撮影
					ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影
			2.底面	施工管理	函台	製作函台	着工時及び作業時	函台、函台の平坦性（敷砂等）及び剥離剤（ルーフィング等）の敷設状況の撮影
			3.マット	施工管理	摩擦増大用マット類の確認	補強材セット状況	作業中、完了時	作業状況が判明できるように撮影
						アスファルトコンクリート打設状況	アスファルトコンクリート打設時	
						搬入仮置	搬入仮置時	
						アンカー取付、加工	取付加工時	
						運搬	運搬時	
			摩擦増大用マット敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時			
			出来形管理	摩擦増大用マット出来形の確認	敷設位置、重ね幅、延長及びジョイントの確認	敷設完了時	確認箇所が判る背景を入れる。	
			4.支保					
			5.足場	施工管理	足場	組立て	組立時	打ち足場及び外足場の組立状況を撮影
						登り足場	組立時	足場の構造、安全ネット等が判明できるように撮影
						壁継ぎ	組立時	
						足場スペース	組立時	
						解体状況	解体時	
			6.鉄筋	施工管理				
				出来形管理	鉄筋	組立て 底版	組立段階確認時	組立完了状況が判明できるように撮影
						フーチング	組立段階確認時	
						外壁（側壁）	各層組立段階確認時	
						隔壁	各層組立段階確認時	
						ハンチ部	上段組立段階確認時	
						吊筋等	上段組立段階確認時	
かぶり	各層組立段階確認時	鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影						
7.型枠	施工管理							
	出来形管理	型枠	組立て 底版	組立段階確認時	組立完了状況が判明できるように撮影			
			フーチング	組立段階確認時				
			外壁（外壁）	各層組立段階確認時				
			隔壁	各層組立段階確認時				
ハンチ部	上段組立段階確認時							

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考		
					撮影箇所	撮影時期			
8 港湾編	5 本体工（ケーソン式）	1 ケーソン製作工	8.コンクリート	施工管理					
				品質管理				無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用	
			出来形管理	コンクリート	形状寸法、外観	打設後、各層	打設完了状況が判明できるように撮影		
				完成	完成品全景	完成時、各函毎	ケーソン番号、吃水マーク等を入れて撮影		
		2 ケーソン進水据付工	1.バラスト	施工管理	バラスト投入	バラスト材投入状況	投入時	バラスト投入方法及び材料が判明できるように撮影	
			2.止水板	施工管理	止水板	止水板の設置状況	進水時	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影	
			3.上蓋	施工管理	蓋 (柵を含む)	蓋の設置状況	進水時	曳航の場合で蓋の取付状況又は取付完了状態を撮影	
			4.進水	施工管理	進水	進水方法	進水時	斜路式、ドライドッグ、FD、吊降し等の方法が判明できるように撮影	
						進水設備	進水時	設備（吊降しの場合、起重機船、吊具を含む）が判明できるように撮影	
						進水状況	進水時	漏水がある場合は漏水状況及び処置状況を撮影	
			5.仮置	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、発電機、ポンプ等設置状況	設置時	使用する船舶機械等の種類が判明できるように撮影	
						仮置作業	沈設状況	仮置時	沈設作業(注水を含む)が判明できるように撮影
						仮置作業	係留状況	仮置時	係留作業(係留アンカーを含む)が判明できるように撮影
				出来形管理	係留の場合	仮置完了	沈設完了状況	完了時、各函毎	沈設仮置完了状態が判明できるように撮影
						仮置完了	係留完了状況	完了時、各函毎	係留完了作業(係留ロープを含む)が判明できるように撮影
			6.回航・えい航	施工管理	蓋の設置状況	完了状況	完了時、各函毎		
		使用船舶				引船全景	えい航開始時	形象物等が判明できるように撮影	
		えい航、回航用ロープ				取付状況及び、吊具取付状況	えい航開始時	えい航・回航用ロープの取付位置及び状況について撮影	
		えい航、回航				えい航・回航姿勢	えい航・回航時	えい航・回航の姿勢が判明できるように撮影	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	5 本体工（ケーソン式）	2 ケーソン進水据付工	6.回航・えい航	施工管理	寄港避難	寄港及び避難の状況	寄港時及び避難時、各函毎	途中寄港した場合には、その係留等の状況が判明できるように撮影
				出来形管理	えい航・回航完了	完了（目的地着）状況	えい航・回航完了時	えい航・回航が完了したことが判明できるように撮影（付近の背景を同時撮影）
		7.据付	施工管理	使用船舶機械等	起重起船、発電機、ポンプ等配置状況	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
				据付作業	据付作業状況	据付時、各函毎	据付作業が判明できるように撮影	
				据付位置	前面又は背面の確認	据付時、各函毎	配筋が非対象の場合に適用	
			出来形管理	出来形の確認	据付完了状況	完了時	据付完了が判明できるように撮影	
				据付目地	据付完了状況	完了時	代表的な部分を撮影	
		据付法線の出入	据付完了状況	完了時	完成法線が判明できるように撮影（延長方向へ撮影）			
		3 中詰工						8-1-5 中詰工を適用
		4 蓋コンクリート工						8-1-6 蓋コンクリート工を適用
		5 蓋ブロック工						8-1-7 蓋ブロック工を適用
		6 本体工（ブロック式）	1 本体ブロック製作工	1.底面	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景
	使用船舶機械等					クレーン等	作業時	
	函台					製作函台	着工時	
	2.足場		施工管理	足場	組立て	組立時	8-5-1 ケーソン製作工の関連項目を適用	
					解体	解体時		
	3.鉄筋		施工管理	出来形管理	鉄筋	組立て 底盤	組立完了時	組立完了状況が判明できるように撮影
						フーチング	組立完了時	
						壁	組立完了時	
						ハンチ部	組立完了時	
						吊筋等	組立完了時	
	かぶり		組立完了時	鉄筋と型枠の間隔が判明できるように撮影				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考		
					撮影箇所	撮影時期			
8 港湾編	6 本体工（ブロック式）	1 本体ブロック製作工	4.型枠	施工管理					
				出来形管理	型枠	組立完了	組立確認時	組立完了状況が判明できるように撮影	
		5.コンクリート	施工管理						
			品質管理						無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用
			出来形管理	コンクリート	形状寸法、外観	打設後		番号等を入れて撮影	
				完成	完成品	完成時		個数が確認できれば1枚に複数枚入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)	
				仮置状況		仮置時		積重ね段数が判明できるように撮影	
		2 本体ブロック据付工	1.本体ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時		使用する船舶機械等が判明できるように撮影
					据付作業	据付作業状況	据付時		据付作業が判明できるように撮影
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	目的測定時及び法線出入の測定時		据付の全体が判明できるように撮影	
	3 中詰工							8-1-5 中詰工を適用	
	4 蓋コンクリート工							8-1-6 蓋コンクリート工を適用	
	5 蓋ブロック工							8-1-7 蓋ブロック工を適用	
	7 本体工（場所打式）	1 場所打コンクリート工	1.足場	施工管理	足場	組立て	組立時	8-5-1 ケーソン製作工の関連項目を適用	
						解体	解体時		
			2.鉄筋	施工管理	鉄筋	鉄筋の仮置、溶接、組立作業	作業時		
						組立て、結束及び溶接			
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時		測定作業が判明できるように撮影	
3.型枠			施工管理	型枠	型枠の構造	作業時		作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影	
	目地材等の取付状況	作業時							
出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時		測定作業が判明できるように撮影				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考					
					撮影箇所	撮影時期						
8 港湾編	7 本 体 工 （ 場 所 打 式 ）	1 場 所 打 コ ン ク リ ー ト 工	4.伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	作業時					
			5.コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び作業時	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影			
										仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時	路線状況が判明できるように撮影
					コンクリート	仕上状況	表面仕上時	穴埋時	天端均し仕上状況を撮影			
										その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	作業時
					品質管理							
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影					
			6.補助ヤード施設	施工管理	補助ヤード	補助ヤード	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影				
			2 水 中 コ ン ク リ ー ト 工					無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用				
	3 プ レ バ ッ ク ド コ ン ク リ ー ト 工					無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用						
	4 水 中 不 分 離 性 コ ン ク リ ー ト 工					2-12 水中不分離性コンクリートを適用						

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考		
					撮影箇所	撮影時期			
8 港湾編	8 本体工（捨石・捨ブロック式）	1 洗掘防止工						8-1-4 洗掘防止工を適用	
		2 本体捨石工	1.本体捨石 2.本体捨石均し	施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前後		
					陸上運搬	ストック、積込み、運搬状況	運搬時	作業機械作業状況等が判明できるように撮影	
					捨石投入	投入状況	投入時、捨石規格毎及び作業船種毎		
					捨石均し	均し状況	規格及び作業船毎		
			品質管理	材料試験	試験状況	試験時	公的機関が実施する場合は省略できる。		
				材料の確認	産地・規格毎	搬入時	スタッフ、テープ等を同時撮影		
		出来形管理	出来形の確認	測量状況	測量作業時				
		3 捨ブロック工	1.捨ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用	
					使用船舶機械等	クレーン等	作業時		
	函台				製作函台	着工時			
	品質管理						無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用		
				出来形管理	鉄筋	組立てかぶり	組立完了時	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用	
					型枠	組立完了	組立確認時		
	コンクリート				形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影		
	完成				完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)		
								仮置状況	仮置時
	2.捨ブロック据付		施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影		
					据付作業	据付作業状況	据付時	据付作業が判明できるように撮影	
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	据付の全体が判明できるように撮影		
	4 場所打コンクリート工	1.基礎砕石	品質管理	材料の確認	材料	現場搬入時 (種類、品質及び形状寸法の異なる毎)			
					品質試験状況	試験時			
2.型枠		施工管理	型枠	型枠の構造	作業時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影			
				目地材等の取付状況	作業時				
出来形管理		出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影				
3.伸縮目地		施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	作業時				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	8 本体工（捨石・捨ブロック式）	4 場所打コンクリート工	4.コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	着手前後作業中及び跡片付後	
						コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び作業時	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影
						仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時	路線状況が判明できるように撮影
					打継ぎ処理	処理状況	作業時	作業方法が判明できるように撮影
					コンクリート	仕上状況	表面仕上時	天端均し仕上状況を撮影
				穴埋時			型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影	
					その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	作業時	
					品質管理			無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用
		出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影		
	9 本体工（鋼矢板式）	1 鋼矢板工					8-1-8 鋼矢板工を適用	
2 控工						8-1-9 控工を適用		
10 本体工（コンクリート矢板式）	1 コンクリート矢板工	1.コンクリート矢板				8-1-8 鋼矢板工を適用		
	2 控工					8-1-9 控工を適用		
11 本体工（鋼杭式）	1 鋼杭式					8-1-10 鋼杭工を適用		

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考						
					撮影箇所	撮影時期							
8 港湾編	12 本体工（コンクリート杭工）	1 コンクリート杭工						8-1-10 鋼杭工を適用					
	13 被覆・根固工	1 被覆石工	1.被服石						8-4-3 基礎捨石工 1. 基礎捨石を適用				
			2.被服石均し						8-4-3 基礎捨石工 2. 捨石本均し、3.捨石荒均しを適用				
		2 袋詰コンクリート工							無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用				
		3 被覆ブロック工	1.被覆ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景			8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用			
					使用船舶機械等	クレーン等	作業時						
					函台	製作函台	着工時						
				品質管理									無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用
					出来形管理	鉄筋	組立てかぶり				組立完了時	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用	
						型枠	組立完了				組立確認時		
			コンクリート	形状寸法、外観		打設後	番号等を入れて撮影						
			出来形管理	完成		完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)					
						仮置状況	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影					
	2.被覆ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影							
			据付作業	据付作業状況	据付時	据付作業が判明できるように撮影							
		出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	据付の全体が判明できるように撮影							
	4 根固ブロック工	1.根固ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景			8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用				
				使用船舶機械等	クレーン等	作業時							
				函台	製作函台	着工時							
			品質管理								無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用		
				出来形管理	鉄筋	組立てかぶり				組立完了時	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用		
					型枠	組立完了				組立確認時			

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	13 被覆・根固工	4 根固ブロック工	1.根固ブロック製作	出来形管理	コンクリート	形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影
					完成	完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)
					仮置状況	仮置時	積重ね段数が判明できるように撮影	
		2.根固ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	8-13-3 被覆ブロック工2.被覆ブロック据付の関連事項を適用	
				据付作業	据付作業状況	据付時		
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時		
		5 水中コンクリート工						無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用
	6 水中不分離性コンクリート工						無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用	
	7 サンドマスチック工	1.サンドマスチック	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時		
				施工状況	作業状況	作業中		
			品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時		
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時		
	14 上部工	1 上部コンクリート工	1.支保					
			2.足場	施工管理	足場	組立て	組立時	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用
解体					解体時			
3.鉄筋			施工管理	鉄筋	鉄筋の仮置、溶接、組立作業	作業時		
					組立て、結束及び溶接	組立時		
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時		測定作業が判明できるように撮影
4.型枠			施工管理	型枠	型枠の構造	作業時	作業機械、船舶、作業方法が判明できるように撮影	
					目地材等の取付状況	作業時		
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影			

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考					
					撮影箇所	撮影時期						
8 港湾編	14 上部工	1 上部コンクリート工	5.伸縮目地	施工管理	伸縮目地	伸縮目地の設置状況	作業時					
			6.コンクリート	施工管理	準備仮設	プラント仮設、コンクリートミキサー船回航、仮設道路、登坂路等	着手前後作業中及び跡片付後					
										コンクリートミキサー船回航	回航開始時、終了時及び作業時	使用船舶、回航の状況等が判明できるように撮影
										仮設道路、登坂路等	仮設作業時、設置後及び撤去時	路線状況が判明できるように撮影
					打継ぎ処理	処理作業	作業時	作業方法が判明できるように撮影				
					コンクリート	仕上状況	表面仕上時	天端均し仕上状況を撮影				
							穴埋時	型枠取外後の締付材等の穴埋状況を撮影				
					その他	灯台基礎、電柱穴、階段等	作業時					
			品質管理			無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用						
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影					
			7.補助ヤード施設	施工管理	補助ヤード	補助ヤード	着工時全景	ヤード全景及び設備が判明できるように撮影				
			2 上部ブロック工	1.上部ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用			
						使用船舶機械等	クレーン等	作業時				
						函台	製作函台	着工時				
	品質管理					無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用						
	出来形管理	鉄筋		組立てかぶり	組立完了時	8-5-1 ケーソン製作工の関連事項を適用						
		型枠		組立完了	組立確認時							
		コンクリート		形状寸法、外観	打設後	番号等を入れて撮影						
		完成		完成品	完成時	個数が確認できれば1枚に複数数入れて撮影(全個数確認必要枚数撮影)						
				仮置状況	仮置時	積重段数が判明できるように撮影						
	2.上部ブロック据付	施工管理		使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	8-13-3 被覆ブロック工 2.被覆ブロック据付の関連事項を適用					
			据付作業	据付作業状況	据付時							
		出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時							
15 付属工	1 係船柱工	施工管理	使用船舶機械等	杭打機、クレーン車(船)、トラック等	設置時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影						
			施工	基礎工施工状況	施工時	基礎施工状況(杭打ち、基礎石投入、均し及びコンクリート打設等)を撮影(押込ボルトを含む。)						
			据付	本体据付状況	据付時	据付状況が判明できるように撮影						

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考		
					撮影箇所	撮影時期			
8 港湾編	15 付属工	1 係船柱工	品質管理	搬入数量の確認	係船柱	搬入時	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影		
				出来形管理	杭	基礎杭	杭打完了時	基礎打込完了状況が判明できるように撮影	
				石材投入、均し	基礎石投入均し完了状況	均し完了時	基礎石均しが判明できるように撮影		
				型枠	型枠組立完了状況	組立完了時	打設前の型枠、埋込ボルト検査状態		
				基礎完成	基礎完成状況	完成時	完成が判明できるように撮影		
				据付完成	本体据付確認状況	完成時	据付完了状態が判明できるように撮影		
			2 防舷材工	1. 防舷材	施工管理	使用船舶機械等	台船、クレーン車(船)	取付前	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
		取付け				取付位置の状況	取付前	埋込(取付)ボルトの部分及び全景取付状況の撮影	
					取付状況	取付時			
		品質管理		搬入数量の確認	防舷材	搬入時	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影		
				出来形管理	出来形の確認	取付完了状態	取付完了時	取付完了状態の部分(1基)及び正面全体と延長方向全景	
			3 車止・縁金物工	1.車止・縁金物	施工管理	使用船舶機械等	台船、溶接機、クレーン	取付時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影
	取付け	取付状況				取付時	取付状況(取付け、溶接、コンクリート打設)		
		塗装状況			塗装時、各層毎	各層毎の塗装状況(警戒色塗装を含む)			
	品質管理	形状寸法		測定状況	測定時				
		塗料		塗料の種類毎	搬入時	塗料の種類別に内容が判明できるもの			
	出来形管理	取付け		取付完了状態	取付完了時	取付完了状態の部分(1基)及び正面全体の法線方向全景			
		4 防食工					8-1-12 防食工を適用		
		5 付属設備工	1.係船環	施工管理	使用船舶機械等	クレーン車(船)、トラック等	設置時	使用する船舶機械等が判明できるように撮影	
	取付				本体取付状況	取付時	取付状況が判明できるように撮影		
	品質管理			搬入数量の確認	係船環	搬入時	搬入数量及び所定の規格表示が判明できるように撮影		
	出来形管理			取付完了	本体取付確認状況	完了時	取付完了状態が判明できるように撮影		

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	16 消波工	1 洗掘防止工						8-1-4 洗掘防止工を適用
			2 消波ブロック工	1.消波ブロック製作	施工管理	ヤード等	ヤード及び設備	着工時全景
		使用船舶機械等				クレーン等	作業時	
		函台				製作函台	着工時	
		品質管理					無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用	
		出来形管理		鉄筋	組立かぶり	組立完了時	8-13-3 被覆ブロック工1.被覆ブロック製作の関連事項を適用	
				型枠	組立完了	組立確認時		
				コンクリート	形状寸法、外観	打設後		
				完成	完成品	完成時		
				仮置状況	仮置時			
	2.消波ブロック据付	施工管理	使用船舶機械等	起重機船、台船等	作業時	8-13-3 被覆ブロック工2.被覆ブロック据付の関連事項を適用		
			据付作業	据付作業状況	据付時			
		出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時			
	17 裏込・裏埋工	1 裏込工	1.目地板	施工管理	目地板の確認	搬入	搬入時	
					敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時	
				品質管理	材料試験	試験状況	試験時	
					目地板の形状寸法	測定状況	測定時	
出来形管理			出来形の確認	敷設完了状態	敷設完了時			
2.裏込材 3.瀬取り 4.裏込均し			施工管理	準備、仮設	ストックヤード、仮設道路等	仮設道路、ストックヤード使用前後		
				陸上運搬	ストック、積込み、運搬状況	運搬時	作業機械作業状況等が判明できるように撮影	
				瀬取り	瀬取り状況	作業時		
				裏込材投入	投入状況	投入時、捨石規格毎及び作業船種毎		
				裏込均し	均し状況	規格及び作業毎		
		品質管理	材料試験	試験状況	試験時	公的機関が実施する場合は省略できる		
出来形管理		材料の確認	産地・規格毎	搬入時	スタッフ、テープ等を同時撮影			
		出来形の確認	測量状況	測量作業時				
5.吸い出し防止材		施工管理	吸い出し防止材の確認	搬入	搬入時			
				敷設状況	敷設状況と使用船舶機械	敷設時		
			品質管理	材料試験	試験状況	試験時		
		出来形管理	吸い出し防止材の形状寸法	測定状況	測定時			
	出来形の確認		敷設完了状態	敷設完了時				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	17 裏込・裏埋工	2 裏埋工	1.裏埋材	施工管理	使用船舶機械等	主要船舶機械	作業時、船舶機械毎	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影
					施工状況一般	埋立材の採取状況	採取作業時	
						埋立材運搬の状況	運搬作業時	
						埋立材整地状況	整地作業時	
						余水吐の設置及び撤去	設置作業時及び撤去時	余水吐が判明できるように撮影
					公害防止対策	防止処置作業時		
			品質管理	材料の品質管理状況	特記仕様書に定められた品質管理の作業状況	品質管理作業時、品質管理内容毎	撮影項目は品質管理基準 1. 土及び 2. 石材等による	
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時		
		3 裏埋土工	1.土砂掘削	施工管理	使用機械	主要機械	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影
					仮置場及び土砂処分場	仮置及び土砂処分状況	作業時、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影
	掘削・切土				掘削、切土、穿孔及び発破状況	作業時、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影	
	運搬				土砂の搬入、搬出状況		埋没物等は、その状態が判明できるように撮影	
	埋戻し及び裏込め				材料の投入及び均し状況			
	出来形管理			出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎		
	2.土砂盛土		施工管理	使用機械	主要機械	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影	
				仮置場及び土砂処分	仮置及び土砂処分状況	作業時、機械毎	各作業状況が判明できるように撮影	
				運搬	土砂の搬入、搬出状況			
			盛土	盛土及び各層の転圧状況				
	品質管理	材料の確認	試験及び搬入状況	試験及び搬入時	主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影項目は品質管理基準 1. 土及び 2. 石材等による			
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎	盛土の各層の仕上り厚さが判明できるように撮影			
18 陸上地盤改良工	1 圧密・排水工						8-1-1 圧密・排水工を適用	
	2 締固工						8-1-2 締固工を適用	
	3 固化工						8-1-3 固化工を適用	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	19 土工	1 掘削工					8-17-3 裏埋土工 1.土砂掘削を適用	
		2 盛土工					8-17-3 裏埋土工 2.土砂盛土を適用	
		3 路床盛土工	1.路床盛土	施工管理	使用機械	主要機械	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影
					運搬	土砂の搬入状況	作業時、機械毎	
					路床盛土	路床盛土及び各層の転圧状況		
			品質管理	材料の確認	試験及び搬入状況	試験及び搬入時	主要材料並びに試験及び搬入の状況が判明できるように撮影 撮影項目は品質管理基準 1. 土及び 2. 石材等による	
		出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎	路床盛土の各層の仕上り厚さが判明できるように撮影		
		4 排水処理工	1.排水処理	施工管理	使用機械	主要機械	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影
					排水	排水処理状況	作業時、機械毎	
				出来形管理	完了	完了全景	完了時	
		5 伐開工	1.伐開	施工管理	使用機械	主要機械	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影
					伐開	伐開、除根状況	作業時、機械毎	
					運搬	切株等の搬出状況		
				出来形管理	完了	完了全景	完了時	
		6 法面工	1.法面	施工管理	使用機械	主要機械	作業時、機械毎	使用機械の種類が判明できるように撮影 各作業状況が判明できるように撮影
					法面	切り取り状況	作業時、機械毎	
					運搬	土砂の搬出状況		
					植生			
				出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時、作業毎	
		20 舗装工	1 路床工					8-1-13 路床工を適用
			2 コンクリート舗装工					8-1-14 コンクリート舗装工を適用

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	20 舗装工	3 アスファルト舗装工					8-1-14 アスファルト舗装工を適用	
	21 維持補修工	1 維持塗装工	1.係船柱塗装 2.車止塗装 3.縁金物塗装	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械類	施工時	曳船、台船、コンプレッサー等が判明できるように撮影
					塗装	施工状況	施工時、各層毎	
		出来形管理	出来形の確認	塗装完了状態	完了時	完了の部分(1箇所)及び正面全体と延長方向を撮影		
	22 構造物撤去工	1 取壊し工	1.コンクリート取壊し	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
					施工状況	作業状況	作業中	
					出来形管理	出来形の確認	測定状況	
	23 仮設工	2 撤去工	1.水中コンクリート撤去 2.鋼矢板等切断撤去 3.腹起・タイ材撤去 4.舗装版撤去 5.石材撤去 6.ケーソン撤去 7.ブロック撤去 8.鋼矢板・H形鋼杭引抜き撤去	施工管理	使用船舶機械等	使用船舶、機械等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影
					施工状況	作業状況	作業中	
				出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	
完成					完成全景	完成時		
23 仮設工	1 仮設鋼矢板工	1.仮設鋼矢板・H形鋼杭					8-1-8 鋼矢板工 2.鋼矢板を適用	
	2 仮設鋼管杭・鋼管矢板工	1.先行掘削					8-1-10 鋼杭工 1.先行掘削を適用	
2.仮設鋼管杭・鋼管矢板工							8-1-10 鋼杭工 2.鋼杭を適用	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考			
					撮影箇所	撮影時期				
8 港湾編	23	3 仮設道路工	1.仮設道路					8-20 舗装工を適用		
	24 雑工	1 現場鋼材溶接工	1.現場鋼材溶接 2.被覆溶接(水中) 3.スタッド溶接(水中)	施工管理	開先の加工	加工状況	作業中	使用機械器具が判明できるように撮影		
					溶接	作業状況	作業中			
					水中溶接	作業状況	作業中			
				品質管理	溶接棒、溶接ワイヤ	特記仕様書の品質であることの表示	使用前	包装の表示が判明できるように撮影		
					出来形管理	外観、形状寸法	観察、測定状況	測定時	ゲージを同時撮影	
				形状寸法			測定時			
				試験		試料の採取状況	採取前及び採取時			
						強度試験の状況	試験時			
				非破壊試験の状況						
				ガリチェックの結果						
				2 現場鋼材切断工	1.現場鋼材切断	施工管理	切断	作業状況	作業中	使用機械器具が判明できるように撮影
							水中切断	作業状況	作業中	
						品質管理	酸素ガス及び溶解アセチレン	特記仕様書の品質であることの表示	使用前	ボンベの表示等が判明できるように撮影
	出来形管理	外観、形状寸法	観察、測定状況				測定時	ゲージを同時撮影		
			形状寸法			測定時				
	3 その他雑工	1.清掃	施工管理			使用機械	ブレーカ、ブラスト等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影	
				施工状況	作業状況	作業中				
			出来形管理	施工前区域	施工前	施工前	全体区域、部分的に施工前及び完成の状況が判明できるように撮影			
				完成	完成全景	完成時	全体区域、部分的に施工前及び完成の状況が判明できるように撮影			
		2.削孔	施工管理	使用機械	カッター、ブレーカ等	施工時	使用機械器具が判明できるように撮影			
				施工状況	作業状況	作業中				
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時				
完成				完成全景	完成時					
25 浚渫工	1 ポンプ浚渫工	1.ポンプ浚渫	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影			
				位置測量	浚渫位置測量状況	測量時		法線又は区域標識を入れる		
			施工状況	浚渫状況	浚渫作業時、作業船毎	浚渫位置が判明できる背景を入れる				
					中継船設置、撤去	設置撤去の作業時				
			障害物除去	障害物積込状況	積込時					
				運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬毎適宜	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影				

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考	
					撮影箇所	撮影時期		
8 港湾編	25 浚渫工	1 ポンプ浚渫工	1.ポンプ浚渫	施工管理		障害物捨込状況	捨込時	
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測量作業時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。	
		2.排砂管設備					8-2-1 排砂管設備工を適用	
		2 グラブ浚渫工	1.グラブ浚渫	施工管理	使用船舶機械等	作業現場	現地搬入前又は現地搬入時	全景及び数量が判明できるように撮影
					位置測量	浚渫位置測量状況	測量時	法線又は区域標識を入れる
					施工状況	浚渫状況	浚渫作業時、作業船毎	船団の配置及び浚渫位置が判明できる背景を入れる
						土質状況	浚渫作業時	位置、深度又は層を明記する
					障害物除去	障害物積込状況	積込時	
						運搬船に積込まれた状態	積込完了時、運搬毎適宜	運搬個数が判明できるように撮影、或いは障害物の大きさが判明できるようにテープ等を同時に撮影、など障害物の状況に応じ撮影
		出来形管理	出来形の確認	測定状況	測量作業時	全景については、位置が判明できる背景を入れる。		
	2.土運船運搬					8-2-2 土運船運搬工を適用		
	3 硬土盤浚渫工	1.硬土盤浚渫					8-25-2グラブ浚渫工 1.グラブ浚渫を適用	
		2.土運船運搬					8-2-2 土運船運搬工を適用	
	4 岩盤浚渫工	1.砕岩浚渫					8-25-2グラブ浚渫工 1.グラブ浚渫を適用	
		2.土運船運搬					8-2-2 土運船運搬工を適用	
	5 バックホウ浚渫工	1.バックホウ浚渫					8-25-2グラブ浚渫工 1.グラブ浚渫を適用	
		2.土運船運搬					8-2-2 土運船運搬工を適用	
	6 浚渫土工	1.土砂掘削					8-17-3 裏埋土工 1.土砂掘削を適用	
		2.土砂盛土					8-17-3 裏埋土工 2.土砂盛土を適用	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考			
					撮影箇所	撮影時期				
8 港湾編	26 埋立工	1 余水吐工	1.余水吐	施工管理	施工状況一般	余水吐の設置及び撤去	設置作業時及び撤去時	余水吐が判明できるように撮影		
						公害防止対策	防止処置作業時			
			2.固化工						8-2-3 固化工 5.事前混合処理を適用	
		2 埋立工	1.ポンプ土取 2.グラブ土取 3.ガット土取	施工管理	使用船舶機械	主要船舶機械	作業時、船舶機械毎	撮影項目は品質管理基準 1. 土及び 2. 石材等による	使用する船舶機械の種類が判明できるように撮影	
	施工状況一般								埋立柱の採取状況	採取作業時
									埋立柱運搬の状況	運搬作業時
									埋立柱整地状況	整地作業時
	品質管理								材料の品質管理状況	特記仕様書に定められた品質管理の作業状況
	出来形管理	出来形の確認	測定状況	測量時						
		3 排砂管設備工							8-2-1 排砂管設備工を適用	
		4 土運船運搬工							8-2-2 土運船運搬工を適用	
		5 揚土埋立工	1.バージアンローダー揚土						8-2-3 揚土土捨工 1. バージアンローダー揚土を適用	
	2.空気圧送揚土								8-2-3 揚土土捨工 2. 空気圧送揚土を適用	
	3.リクレーマ揚土								8-2-3 揚土土捨工 3. リクレーマ揚土を適用	
	4.バックホウ揚土								8-2-3 揚土土捨工 4. バックホウ揚土を適用	
		6 埋立土工	1.土砂掘削						8-17-3 裏埋土工 1.土砂掘削を適用	
	2.土砂盛土								8-17-3 裏埋土工 2.土砂盛土を適用	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分	工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考
					撮影箇所	撮影時期	
8 港湾編	27 道路舗装工	1 路床土					8-1-13 路床工を適用
		2 コンクリート舗装工					8-1-14 コンクリート舗装工を適用
		3 アスファルト舗装工					8-1-15 アスファルト舗装工を適用
	4 道路付属工	1.縁石	施工管理	縁石	据付、目地材の設置	作業時	
			品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	主要資材については品質管理基準 18. その他の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影
		2.区画線及び道路標示	施工管理	区画線、道路標示	舗装状況	作業時	
			品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	主要資材については品質管理基準 18. その他の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影
		3.道路標識	施工管理	道路標識	基礎幅、深さ、標識設置状況	作業時	
			品質管理	材料の確認	試験及び検査	試験及び検査時	主要資材については品質管理基準 18. その他の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
			出来形管理	出来形の確認	測定状況	測定時	測定作業が判明できるように撮影
		4.防護柵	施工管理	防護柵	設置穴の状況、防護柵設置状況	作業時	

撮影箇所一覧表（品質管理・出来形管理）

【第8編 港湾編】

編	区分		工種	撮影区分	撮影項目	撮影基準		備考
						撮影箇所	撮影時期	
8 港湾編	27 道路舗装工	4 道路付属工	4.防護柵	品質管理	材料の確認	試験及び検査		主要資材については品質管理基準 18. その他の項目による試験及び検査の状況が判明できるように撮影
				出来形管理	出来形の確認			
	28 緑地工	1 植生工						8-1-16 植生工を適用

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第9編 土地改良編】

編	番号	工種	写真管理項目		摘要
			撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
9 土地改良編	1	提体工	盛土幅員	施工延長おおむね 20m～40mにつき 1 箇所	
			仮盛土幅員		
			まき出厚さ		
			転圧		
			法長		
			法面		
	2	表土扱い	表土厚	おおむね 10a あたり 1 箇所	
	3	基礎整地工 表土整地工	基盤面	おおむね 10a あたり 1 箇所	
			表土埋戻後		
	4	畦畔工 (溝畔工)	幅	施工延長おおむね 200～400mにつき 1 箇所 上記未満は 2 箇所	
			高さ		
	5	道路工	まき出厚さ	幹線道路は 50～100mにつき 1 箇所 支線道路は 200～400mにつき 1 箇所	
			転圧		
			厚さ		
			幅		

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 下水道編	2 管路	1 管きよ工（開削）	2 管路土工		管路掘削 管路埋戻	機械掘削、人力掘削状況 （施工機械も入れて撮影する）	40m 又は1スパン毎に1回	
						路体、路床別に一層毎の厚さ、転圧状況 （施工機械も入れて撮影する）		
						掘削深		
						掘削幅		
			3 管布設工		管布設工	延長	1スパン毎に1回	
						管つり込み中のもの		
						ゴム輪、管合材等の設置、塗布状況		
						管据付作業を示すもの 配管状況の全景写真		
			4 管基礎工		管基礎工	基礎の厚さ	1スパン毎に1回	
						基礎幅		
	据付け間隔							
	配筋 砂基礎等においては、管周りのつき固め状況							
	5 水路築造工		プレキャスト ボックスカル バート工	布設状況	施工延長20mにつき1回			
				中心線の変位（水平）				
			現場打ち水路 築造工	布設状況	施工延長20mにつき1回			
				中心線の変位（水平） 幅 高さ 厚さ				
	3 管きよ工（推進）	2 推進工		推進工	掘進機の状況	1推進方向ごと		
					掘進、残土搬出状況及び切羽の土質状況			
					普通推進の推進管据付、カラー据付状況			
					滑材注入状況			
目地及び裏込注入状況								
小口径推進の先導管さや管等の接続								
小口径推進の内管接続、挿入状況								
推進仕上り状況 空伏工の施工状況								
4 仮設備工			仮設備工	支圧壁仕上り寸法 （コンクリート工事（鉄筋コンクリート工事）による）	1箇所毎			
				先導体（刃口含む）の形状、寸法	1推進方向毎			
				普通推進の発進坑口、クレーン、ジャッキ、ストラット、 押輪等の据付状況				
				普通推進の中押設備据付状況 小口径推進機械・セミシールド機械の形状、寸法、据付状況				
4 管きよ工（シールド）	2 一次覆工		掘進	掘削、残土排出状況	随時			
				シールド機	シールド機外径、機長等主要寸法		1機ごと	
			一次覆工	セグメント、セグメントシールド材の形状、寸法	測点毎			
				セグメントシールド材着装状況	随時			
				セグメント搬入、運搬状況 セグメント組立て状況 裏込め注入機器設置、注入作業、注入確認作業状況				

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]		
10 下水道編	2 管路	4 管きよ工（シールド）	3 二次覆工		二次覆工	巻厚仕上り寸法（型枠セット時の中間部、型枠移動直前の裏側のそれぞれの上下左右方向及びせん孔等による巻厚確認状況）	施工延長40mにつき1回		
						内空仕上り寸法	施工延長40mにつき1回		
						内挿管（強化プラスチック複合管等）	①基準高：測点毎に1回 ②二次覆工厚： 内挿管5本毎に1回 ③たわみ率及び継手隙間： 500m毎に1回		
						スチールフォーム外径、組立て寸法等	1機毎		
						コンクリート打設状況	随時		
						U字管の設置状況			
			7 坑内整備工		坑内整備工	段取り替えの状況	随時		
						清掃・止水・ボルト締直し状況			
						仕上り状況			
			8 仮設備工		仮設備工	立坑設備、発進設備、換気設備、水替え設備、照明設備、運搬設備等の設置状況、設置寸法	設置箇所毎		
			5 管きよ更生工	2 材料		材料、品質等	施工前の使用材料の保管状況	1回/5箇所	
							施工前の使用材料の確認状況（ロット番号等）	スパン毎	
	4 事前調査工			事前調査	マンホール	全箇所			
					本管	全スパン			
					取付管	全箇所			
	5 前処理工	自立管 複合管		前処理工	障害物の撤去状況（施工前・施工中・施工後）	施工箇所毎			
					障害物の撤去状況（施工前・施工中・施工後）	施工箇所毎			
					取付管の閉塞	施工箇所毎			
					本管目地の補修	適宜			
	6 管きよ内面被覆工（反転・形成工法）	施工状況 出来形管理状況 付帯工		更生工	本管洗浄状況	1回/1スパン			
					挿入状況（引込状況、圧力管理状況等）	1回/1スパン			
					硬化状況（圧力管理状況、温度管理状況）	1回/1スパン			
			本管管口切断状況		1回/1スパン				
			取付管口せん孔状況		1回/1スパン				
更生管口仕上状況（施工前、施工後、管口突出長測定）			スパン毎（上下流）						
更生管口仕上状況（弾性シリング、球芯系パテ仕上）			スパン毎（上下流）						
更生管仕上内径（内測計とノギスによる）			スパン毎（上下流）						
取付管口仕上状況			全箇所						
インバート補修（施工前、施工後）			施工箇所毎						

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要					
						撮影項目	撮影頻度[時期]						
10	下水道編	2	管路	5	管きよ更生工	7 管きよ内面被覆工（製管工法）	施工状況	更生工	本管洗浄状況	1回/1スパン			
									製管作業の状況	1回/1スパン			
									充填材の注入作業状況	1回/1スパン			
									本管管口切断状況	1回/1スパン			
									取付管口せん孔状況	1回/1スパン			
									更生管きよの管口仕上状況（施工前、施工後）	スパン毎（上下流）			
									更生管きよの仕上内径寸法測定	スパン毎（上下流） （φ800mm以上ではスパンの中央部付近でも行う）			
									取付管口の仕上状況	全箇所			
									目視または自走式テレビカメラ等による更生管きよの検査状況	スパン毎			
									インバート補修工（施工前、施工後）	施工箇所毎			
						10	仮設備工	自立管	更生設備工	使用機材設置状況	1回/5スパン		
										製管機・充填材注入機器の設置及び撤去状況	1回/5スパン		
						12	管きよ更生水替え工	複合管	水替え工	本管部・取付管部水替え状況	1回/5スパン		
										止水プラグ設置状況	1回/5スパン		
						特記仕様書				取付管更正工	施工前の使用材料の確認状況	1回/1スパン	
											挿入状況（引込状況、圧力管理状況等）	1回/1スパン	
											硬化状況（管内、ます内）	1回/1スパン	
											硬化状況（圧力管理状況、温度管理状況）	1回/1スパン	
											使用材料の現場採取確認状況	1回/1スパン	
											更生管仕上厚さ（ノギス測定）	全箇所	
											突出部せん孔状況	全箇所	
											インナーフィルム撤去状況	1回/1スパン	
											取付管口補強工	施工前の使用材料の確認状況	1回/1スパン
										挿入状況（引込状況、圧力管理状況）		1回/1スパン	
										硬化状況（圧力管理状況、温度管理状況）		1回/1スパン	
										ます改良工	取付管口仕上状況	全箇所	
											ます洗浄状況	1回/5箇所	
											不陸調整状況	1回/5箇所	
											施工状況	1回/5箇所	
											仕上状況	全箇所	
ます仕上厚さ（ノギス測定）	全箇所												
	ます深	全箇所											

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要				
						撮影項目	撮影頻度[時期]					
10 下水道編	2 管路	5 管きよ更正工	特記仕様書		人孔改良工	洗浄状況	1回/5箇所					
						不陸調整状況	1回/5箇所					
						施工状況	1回/5箇所					
						仕上状況	全箇所					
						仕上厚さ（ノギス測定）	全箇所					
						仕上幅	全箇所					
		6 7 マンホール工			マンホール工	基礎工、据付モルタル、底部コンクリートの厚さ、幅	全箇所					
						現場打マンホールの壁厚、壁高						
						マンホールブロック、調整リング、蓋の据付状況 （施工機械も入れて撮影する）						
						止水材の据付状況						
						管口防護工の施工状況						
						現場打マンホールの足掛金物設置状況						
		8 取付管及び ます工			取付管及び ます工	掘削、ます設置、配管状況、埋戻しの方法、状況	全箇所					
						支管接続工の施工状況						
		1 立坑工			立坑工	立坑の幅、長さ、深さ	1箇所ごと					
						基礎の幅、厚さ						
土留工、支保工、掘削、埋戻しの施工状況 （施工機械も入れて撮影する）												
路面覆工の施工状況												
3 処理場・ポンプ場	7 本体築造工	8 躯体工		ポンプ場 終末処理場 （池・槽の主 要構造物）	施工状況	1 施工箇所ごとに適宜撮 影 （施工中）						
					幅			測定箇所ごとに1回 （施工後）				
					高さ							
					壁厚							
					長さ							
					ポンプ場 終末処理場 （池・槽の付 属構造物）				施工状況	1 施工箇所ごとに適宜撮 影 （施工中）		
									幅			測定箇所ごとに1回 （施工後）
									高さ			
									壁厚			
					開口部				施工状況	適宜撮影 （施工中）		
									幅			1 施工箇所に1回 （施工後）
									高さ			
ゲート用開口 部	施工状況	適宜撮影 （施工中）										
	幅			1 施工箇所に1回 （施工後）								
	高さ											

撮影箇所一覧表（出来形管理）

【第10編 下水道編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 下水道編	3 処理場・ポンプ場	7 本体築造工	8 躯体工		可動せき用開口部	施工状況	適宜撮影 〔施工中〕	
						幅	1 施工箇所につき1回	
			高さ		〔施工後〕			
			10 越流樋工		流出トラフ	施工状況	適宜撮影 〔施工中〕	
						幅	1 施工箇所につき1回	
						高さ	〔施工後〕	
	厚さ							
	11 越流堰板工	越流堰	施工状況	適宜撮影 〔施工中〕				
			幅	1 施工箇所につき1回				
			高さ	〔施工後〕				
			長さ					
	その他					各項目のコンクリート工は無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用 共通編等の各工種に示すところを準用する。		

撮影箇所一覧表（品質管理）

【第10編 下水道編】

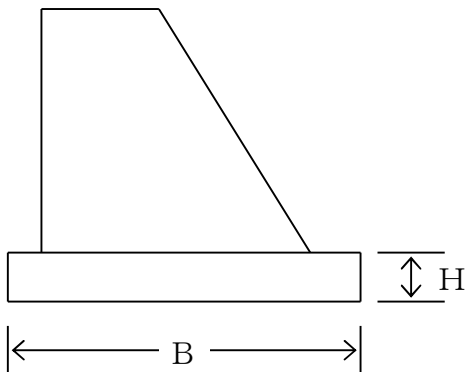
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
10 下水道編	2 管路	1 管きよ工（開削）	2 管路土工		管路埋戻	現場密度試験の実施状況	埋戻し 500m ³ 毎につき1回	
						3 管布設工	気密性試験	
その他					各項目のコンクリート工は無筋・鉄筋コンクリートの関連事項を適用 共通編等の各工種に示すところを準用する。			

付 録

～工事記録写真を撮影する際の留意事項～

1. 黒板及び記入例

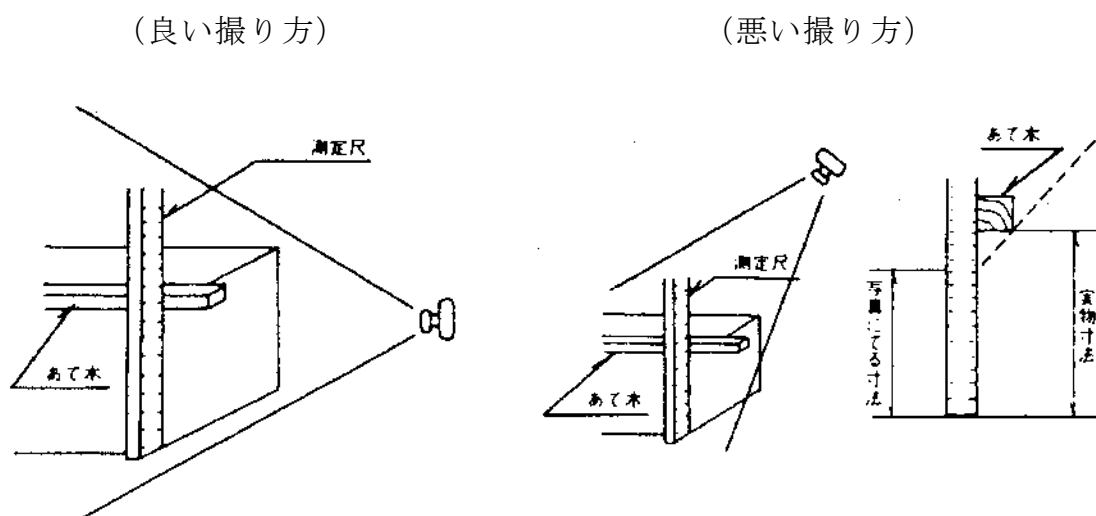
(黒板及び記入例)

工 事 名	○ ○ ○ ○ 工 事
工 種 名	A型擁壁工 (砕石基礎)
位 置 (測点)	No. 1 5
 <p>B = 150 cm H = 15 cm</p>	
○ ○ 建 設 (株)	

- (注) 1. 出来形写真においては、形状寸法を記入すること。
2. 工事状況写真等においては、写真説明を記入すること。

2. 被写体に対するカメラ位置

写真は、被写体に対するカメラ位置によって極端に映像が変わるので、測定尺をあてて寸法を表示する写真を撮影する場合、被写体に対しカメラを斜め位置に構えて撮影すると、正確に寸法の表示がされない場合が多い。従って、カメラ位置は被写体の中心で、しかも直角の位置から撮影することが大原則である。

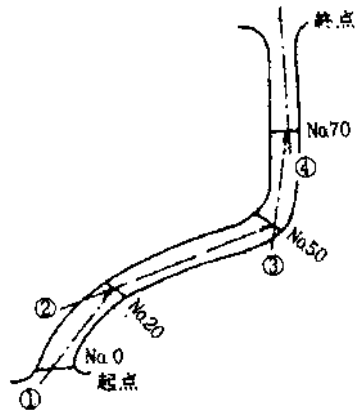
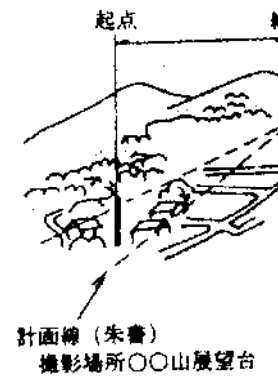
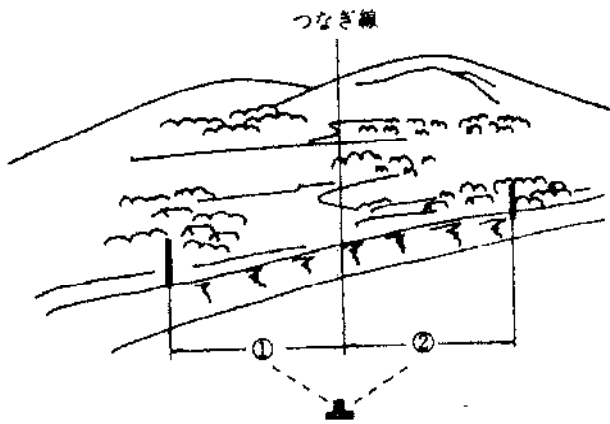


- 1) 写された測定尺の寸法が正確に読みとれなければ出来形写真としては不
適格といえる。このため、撮影者は姿勢を低くして、本体とあて木の合致
面よりもレンズの中心が下がるようにすれば、測定尺が正確に読み取る写
真を撮ることができる。
- 2) 上図（悪い撮り方）の場合、被写体との角度が鋭角になるほど、また、
あて木が厚いほど写真に表われる寸法は短く写る。
- 3) 地形等の関係上どうしても鋭角でなければ撮れない場合でも、極く薄い
あて木を用いるとか、水糸を張る等の工夫をすれば、撮影角度による誤差
のない写真を撮ることができる。

3. 工事着手前の写真

(1) 工事着手前に、工事区間全体の状況が判定できる写真を、次の点に留意して撮影すること。

- ① 起終点及び工区全体を写すものとし、同一画面に収まらない場合はつなぎ写真(パノラマ写真)とする。この場合、カメラを水平に移動して行う。
- ② 起終点をはっきりさせるため、ポール等をたてる。
- ③ 見通しの悪い場合は、追い写真とする。
- ④ 着工前、施工中及び完成の写真のそれぞれを、原則として、同一地点・同一方向から撮影する。この場合比較できるようにするため、撮影計画書又は着工前の写真の下に撮影場所を記録しておくものとし、追い写真の場合は、撮影箇所の略図を作成する。



- ①から起点～No.20 を望む
- No.15 付近②からNo.20～No.50 を望む
- No.48 付近③からNo.50～No.70 を望む
- No.65 付近④からNo.70～終点を望む

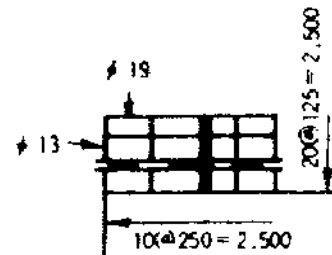
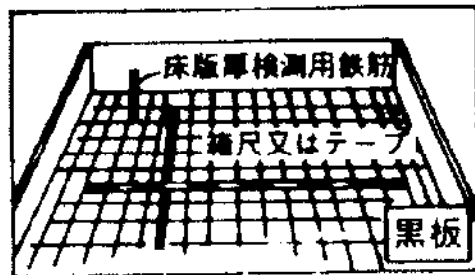
(2) 道路舗装、河川護岸その他管理者の異なる構造物は、着工前に適宜管理者立会いのうえ詳細に撮影しておくこと。

(3) へい、家屋等に接近して深い掘削を行う場合又は鋼矢板、基礎杭の打込み等の振動で近接家屋等に影響があると推定される場合、その他長期間の水替え等によって構造物に不等沈下のおそれがある場合等には、着工前にひびわれ、傾き等の状況を詳細に撮影しておくこと。

4. 出来形写真の撮影例

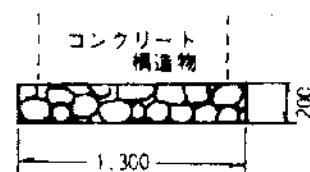
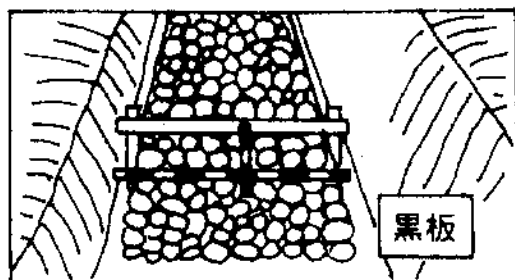
(1) 第1編共通編 3. 無筋・鉄筋コンクリート 7. 鉄筋工

工種：組立て



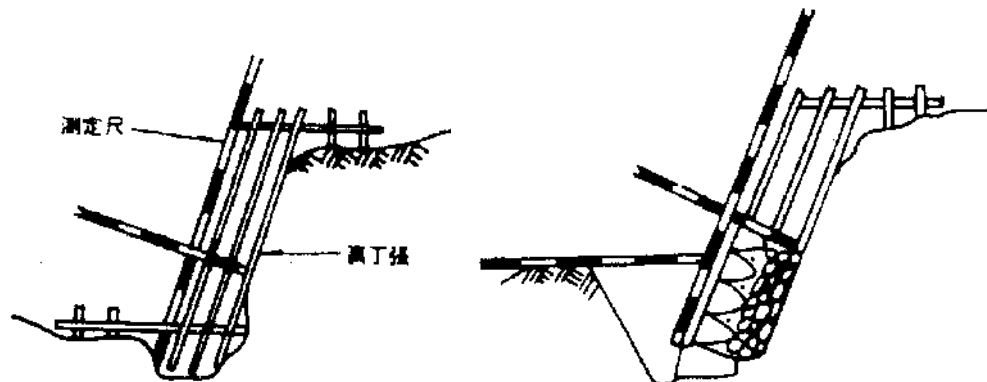
(2) 第3編土木工事共通編 2. 一般施工 4. 基礎工

工種：一般事項（切込砂利、砕石基礎工など）

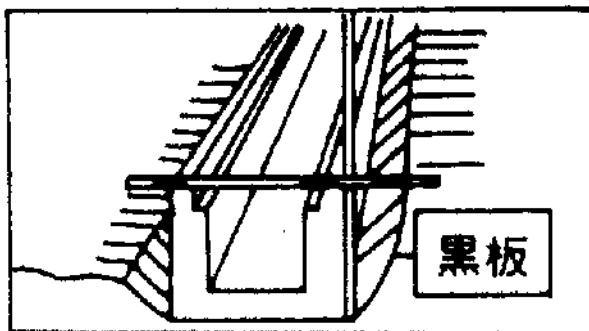


(3) 第3編土木工事共通編 2. 一般施工 5. 石・ブロック積（張）工

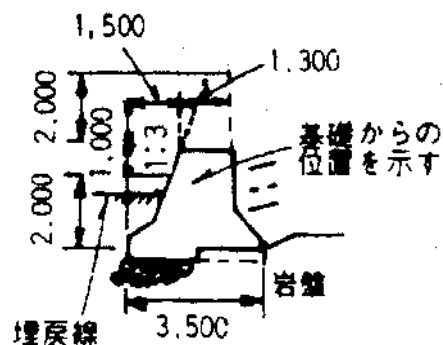
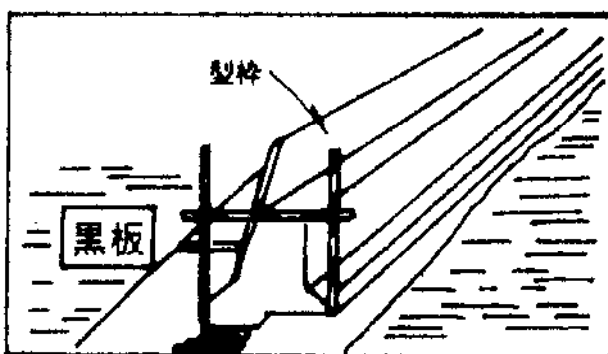
工種：コンクリートブロック工など



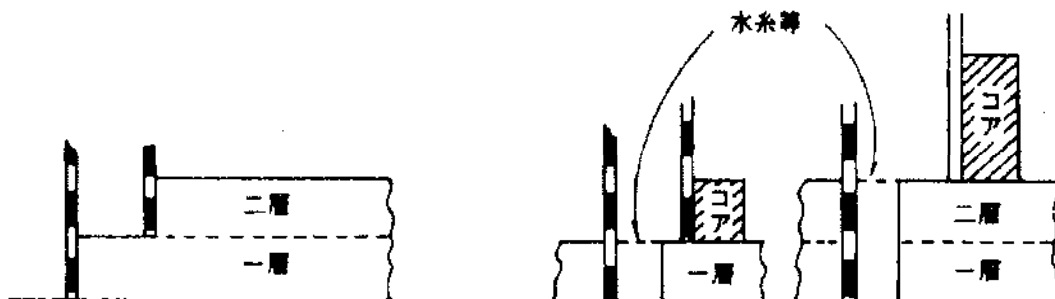
- (4) 第3編土木工事共通編 2. 一般施工 3. 共通の工種
 工種：側溝工など



- (5) 第3編土木工事共通編 2. 一般施工 15. 擁壁工（共通）
 工種：場所打擁壁工など



- (6) 第6編道路編 2. 舗装 3. 舗装工
 工種：表層工など



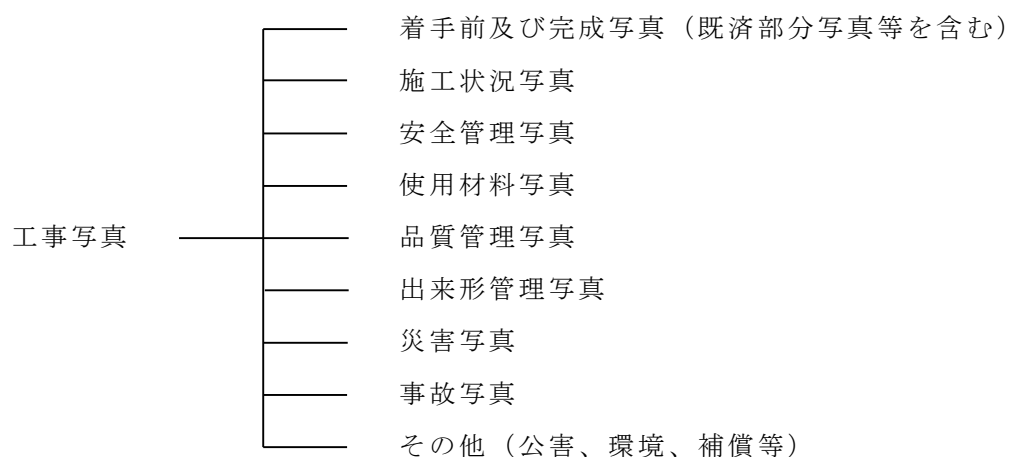
別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」

（適用範囲）

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（フィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

（工事写真の分類）

2. 工事写真は次のように分類する。



（工事写真の撮影基準）

3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。

（1）撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

（2）撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

また、特殊な場合で監督員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

(3) 情報化施工

「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」（平成29年3月神戸市）による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

(写真の色彩)

5. 写真はカラーとする。

(写真の大きさ)

6. 写真の大きさはサービスサイズ程度とする。ただし、監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

(工事写真帳の大きさ)

7. 工事写真帳は、4切版のフリーアルバム又はA4判とする。

(工事写真の提出部数及び形式)

8. 工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。

- (1) 工事写真として、工事写真帳と原本を工事完成時に各1部提出する。
- (2) 原本としては、ネガを提出するものとする。

(工事写真の整理方法)

9. 工事写真の整理方法は次によるものとする。

- (1) 工事写真の原本をネガで提出する場合は、密着写真とともに撮影内容がわかるようにネガアルバムに整理し提出するものとする。

(留意事項等)

10. 別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。

- (1) 撮影項目、撮影頻度等が工事内容に合致しない場合は、監督員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を工事写真帳に添付する。
- (5) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督員と写真管理項目を協議のうえ取

り扱いを定めるものとする。

(その他)

1 1. 用語の定義

(1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所での仕様が確認できる箇所をいう。

(2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。